地方に戦し地方起債の緩和に努め、近く何等かの局と見られてゐる、而して整富いとのと見られてゐる、而して整富として失業者の多い。近く何等かの局と

一日夕首相官邸にて

一行慰勞宴

以前に第一回會議を閉き議事打・ 相の手許に於て監修中の協定の何 改正を見た鎌道高線へ員は江木線

で各地に土木

長としての氏の地位は如何になる。の敷粉を正式に酸可した「東東特象三甲酸」位常設建氏のか不明であったが、三日附で拓強の関文に関り補繊理事と

韓劉兩氏膠東の

地盤爭奪に腐心

山西派に秋波を送り

昭和製鋼社長は

伍堂満鐵理事が兼任

林を事 政友政調理事會



職者によって浮く解給額を開張ったがこの不意打の昇齢見合せは かからぬ波紋を都下一萬の際官に がけかけてある、際官の昇齢は離 の希望はこの七月の定期外給であ

取消要求

近く莫全權に訓電

南京・奉天協議の上

三井登記問題

会社、官衙へ続ずる者皆無で現職 郷と失戦の洪水時代とて他の銀行 郷と失戦の洪水時代とて他の銀行

北方政府に

南方側無關心 

菱刈軍司令官 初度巡視の日程 來る七日より二週間

下清像浴板各部隊の初度巡視に向った所教司合部、守御隊司合部、守御隊司合部以十六師教司合部、守御隊司合部以十六師教司合部、守御隊司合部以

策を続せればならぬ。 ・この別泊した失率、不量領を 来した根本原因を探求し打開の 野を続せればならぬ。

▲七日 遼陽到濟、第十六師團司 令部、工兵中際、衞民病院、步 兵第二十聯聯、總兵分職尚任遼 兵第二十聯聯、總兵分職尚任遼

能りに他力本能的の思想ではある をで政府の責任の如く云スするは をで政府の責任の如く云スするは まいかの

ふ起工式

**隆司令部、獨立步兵第二十聯瞭、** 

**州智、十時三分酸公主機に** 午前七時三十分遼陽駐割

百餘名參列

なっな影響、失響、必ずしも今日 に触まれるにあらず、そこに根本 を確立せればならぬ響がある を厳略に惑ふった転換か、常局者

大觀

遼 杉放 庵

職、源、季、約四氏の何も永緩せ 関ふてるら にの就任は時界や可能と見、而も 関ふてるら 製鋼所設置運動

けふ安義で市民大會

が年後は事務の打合後目下開催中れ直ちに国際事項の影響に入った。 栓敷設か の三緒にず

蘇任挨拶のため三日市内各方面蘇任挨拶のため三日市内各方面本平田職一郎氏(前國際運輸収縮役) は、これに善盛し、その打開策を し、これに善盛し、その打開策を し、これに善盛し、その打開策を 新任挨拶のため三日市内各方面 がなけっジンマ

他の注射がきくかどうか判られ

昇給激

「個へられるも支那」と、 真際無氏のベルリン

は は 國

不況は慢性病
ちや 名醫の診察が必要

但石總裁記者と問答

張學良氏の

政府鐵道部へ長孫科氏代表吳鏡媛 「本工事が多年贈手出來なかつたのは内胤が絶えなかつたためで、建設費用の騎根である内胤 を止めて事業の完成を計らねばならぬ」

と観き、張輝良氏もまた「集階完成のために皆の者が労力せねばならぬ」

郷高大等ヤメ

同意

▲二十日 十時三十分營口發大石 穩に向ふ、獨立守備步兵第三大 縣、太石橋分院、正午大石橋小 勢校に官民招待、十六時二十三 大石橋分院、正年大石橋小  凉

花莚を求める

ド側到着各大學を側見學ペンプローク大學の學生食堂の大人等を從へられ二日午後一段二十分オックスフオ

「ロンドン二日發電面」高松宮同妃附股下は松平大使、

を問題散発に死父宮賦下の御在邸あらせられたマグダレて御食事を猶らせたのら慰校内の数會、認識、圖書館等

一個版し本年は載中奉中が有力なる をになつたが、昨年度は育成中學 をになつたが、昨年度は育成中學 をになつたが、昨年度は育成中學

種目に付一等三點

卒業論文の

大阪には御輿院と無された。かくて中庭にて肥念御掘

高松宮兩殿下

牛津を御訪問

全満中等學校の

對抗水上競技會

來る八月十七日擧行

正隆銀行が

★、四百米、千五百米、百米、 ●競技種目 五十米、百米、 下本、五十米、百米、

り三十三萬五千六百六十六國の数 職ビル郷營者職佐太郎氏を相手取 地(現住所嗣郷縣八女郡上妻村) 地(現住所嗣郷縣八女郡上妻村) 歌いた として市内入郷町四一番 なり、一方故人が生前自ら書いて 定性壁人として市内入郷町四一番 なり、一方故人が生前自ら書いて

銀蓄

御兄秩父宮さまが御在學の

マグダレン大學に深き御興

感散験を彷徨してゐるの

**舞高が八十回。それも職べた九十個だ以で惨めなもので女科出身のが低齢なるものが** の二十四名、六十四周の十九名 石のうちたつた二名、お次が七

をやろかも今は感、それ等の歌士様なら

から大型まで永い歳月かょつて一 と大分低落してゐる、何しろ一人 と大分低落してゐる、何しろ一人 から大型まで永い歳月かょつて一 よ 大二圓だから情ない、更に各種悪」なみの二十圓といふのさへあるのにそれがやつとの思ひで社会に 園の安さである、中壁や家生で園の安さである、中壁や家生で

## | で大十八名も占めて断然多 | 行場出要率天へ営中職送された、| に就いて見ると大十間から七 | 機三機は三日午前六時卅分所澤栗 | 頻識つて焼密頻敷の取離めに急が | 常天支那幟に宜奥する入八式修察 | 以下出場、梅雨柳の長腿瞳飛行を | 線面で大十八名も占めて断然多 | 行場出要率天へ営中職送された。| しい、所律は珍しい快晴、雑穂、 へ貸與の 所澤を出發す 着奉は六日ごろ

佐から「国際飛行の成功を締る」」に着くまで國府港で機関車を研究の來電に各搭乗者勇みたち蟹川大 分に擬骸を出たら午後一時名古屋の來電に各搭乗者勇みたち蟹川大 分に擬骸を出たら午後一時名古屋から、所澤は彩しい快職、縦棲、 時十分第四ホームに横たはつてるしい、所澤は彩しい快職、縦棲、 

の熟憾職つた見激りと戦呼の渦を列車は晋もなくごり出し機相以下

後に一路西方に驀進した

では一層みじめでは一層みじめでは一層みじめでは一層みじめでは一層みじめでは一層みじめでは一層みじめでは一層みじめでは一層みじめでは一層みじめでは一層みじめで 北中財操縦、中村中計画との機能の管験を受ける の驚陸準備の完成を待ち六日ごろ で課出頭の管である 映し平虚飛行場に飛び奉天飛行 まで一千キロを突破し、同様で前後には第一コースの九州太万 員同業、五百三十二號は鷹雕中時 操縦、栗田工長開業爆管男まし した、三機は午後零時

国的人類を呼んでゐるが、太郎的人類を呼んでゐるが、太

連日人氣を傷

合飾一行十二名も二日正午

へ連市長ら

# 卸賣市場改善

上様なら娘をやろか」

漸やし就職戰線を乗り切つた

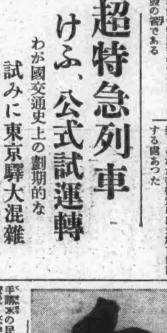
幸運兒の初任給は?

は六十二圓見當で

現業治等を贈むに見取し午後

三後年間局を退出した(寛美は電

**常電信機械器、二階展整會場、一** 歐眼鏡。午後一時二十分大連郵便



けふ

するだけで無停車といふ素噌しい や試楽者に女子供老人が多いので 見強り人の無道ひやらで大盗艦をや試乗者に女子供老人が多いので 個を融通したが、昭和三年六月まず際に基礎した、連由は正鑑が観 氏に関し昭和二年二月五種の約束 手形で合献三十二萬一千六百七十 東京に基礎した、連由は正鑑が観

分注意してやって具輪へ」と識倣の分注意してやって具輪へ」と識倣の 「おらが大 の支続職式を行ったものである。なで記を出有に対して支続はぬのみで記を出有に対して支続はぬののを回転して対象を対象を対象を行ったものである。

早くい 清貧だつた故田中義一大將 も新盆 人將」の

「東京特電三日数」田中義一大將 が、田中家では数日前に親族會議 が、田中家では数日前に親族會議 を開き財産一部の處分を決定し、 管山北町の邸宅も人手に渡して遺 を開き財産一部の處分を決定し、 を開き財産一部の處分を決定し、 では数日前に親族會議 を開き財産一部の處分を決定し、 を開き財産一部の處分を決定し、 を開き財産一部の處分を決定し、 を開き財産一部の處分を決定し、 を開き財産一部の處分を決定し、 を開き財産一部の處分を決定し、 遺族は中野に佗住居 の触町別取も約十萬圓の借財の抵込んであたが、本瓜も、大野盛終 の遺跡もあらずと親族までが思いの持主だった大粉は定めし相 にか遺族が男爵家をたてられる 融北大船長久保且為(Pa)にかゝる ・一部でとが偉い」と別言を吐いて がどこが偉い」と別言を吐いて あるうちばよかつたが、終ひに は異くも不敬に互る言辞を弄し は異くも不敬に互る言辞を弄し は異くも不敬に互る言辞を弄し

と情量を計量され態役六ヶ月で飛

はれたものである。はれたものである。

産兒制限



の際知愛きなう出進に連大

連続衛名物和洋風易 意意神でもトテモ報 意意神でもトテモ報 外外・シーカ井 大連市連鎖街の海線通 小針類十五錢 小井 大連市連鎖街の海線通

1000 はかりいしいものはかりかりがあると食堂 100 は 10

北岡第一氏が標準である北岡第一氏が標準のは乗知縣より農林抜手 ハツ郷、土工具、カマルが変が、 エ具、金物では、ウェス

御契約金五圓申受残金出來、納期御注文衫

誌安格

月報池呈東京京橋松屋町一ノ四近江屋書店主て午月運供誌繪本小説の卸目録:進呈主て午月運供誌繪本小説の卸目録:進呈

7 p 電話七二五五番

消淋 法傳授料金五圓也 渴病 自枢票 車動

夏モーニング豫約奉仕 食

日本各地名産 世界各國酒類: 最も適當の 料品品 0

山口騒動線がある。 一大概しさのあまり間に重つて投資せるも認に変子の地方が明となり、政音は脚来わか 一般に重つて投資せるも認に多子の地方をであったが、 現店校島銀方和へ佐西尾電子が多るからと三日政音より本の他各方 のるからと三日政音よりの世界子が多るからと三日政音より小崎子照 を調る意味で目標し酸剤に輸出し 取調べ依頼

御客様がどんな理由にせよ御不満の場合を除からと言ふので御ざいます、御需の品が御考へになつたものと相違した場合、又は、御歸宅後の御都合にて御不用になつた場合、又は、御歸宅後の御都合にて御不用になつた場合、又は、御歸宅後の御都合にて御不用になつた場合、又は、御歸宅後の御都合にて御不用になつた場合、至節が急變がにお戻しを願ひます現金で全額を即時が拂戻し致します。「方にお戻しを願ひます現金で全額を即時が拂戻し致します。」「方にお戻しを願ひます現金で全額を即時が拂戻し致します。」「方にお戻しを願ひます現金で全額を即時が拂戻し致します。」「方にお戻しを願ひます現金で全額を即時が拂戻し致します。」「方にお戻しを開びる場合になった場合、又は、御情が終った。」「本語がある場合には、「本語がある。」「本語がある。「本語がある。」「本語がある。「本語がある。」「本語がある。「本語がある。」「本語がおります。「本語がある。」「本語がある。「本語がある。「本語がある。」「本語がおりた場合、「本語がある。」「本語がおり、「本語がおり、「本語がおり、「本語がおり、「本語がおり、「本語がおり、「本語がおり、「本語がおり、「本語がおり、「本語がおり、「本語がおり、「本語がおり、「本語がある」「本語がある。「本語がというないます。「本語がある。「本語がある。「本語がある。」「本語がある。」「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。」「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。」「本語がある。「本語がある。「本語がある。「本語がある。」「本語がある。「本語がある。「本語がある。」「本語がある。「本語がある」「本語がある。「本語がある。」「本語がある」」「本語がある。「本語がある」」「本語がある。「本語がある」「本語がある」」「本語がある」「本語がある」」「本語がある」」「本語がある」」「本語がある」「本語がある」「本語がある」」「本語がある」「本語がある」」「本語がある」「本語がある」「本語がある」「本語がある」「本語がある」「本語がある」「本語がある」「本語がある」」「本語がある」「本語がある」「本語が表する」「本語がある」」「本語がある」「本語がある」」「本語がある」」「本語がある」「本語がある」」「本語がある」「本語がある」「本語がある」「本語がある」「本語がある」」「本語がある」「本語がある」「本語がある」「本語がある」「本語がある」「本語がある」」「本語がある」「本語が 般御得意樣 

へ取割方を依頼して来た

小敬の船員

懲役六ヶ月

二年執行猶豫

**集圖較** 

別誂高級仕立 期間中は假縫付 B 英國製黒カシミヤ 編本コールズボン付き (補寒白本サベル) (編集事罪性立) 金六十五圓也 (貳百着限り) 金五十八圓也

五圓中受残金 二囘拂にて頂きます期 御注 文後三週間以內 御一報大第基本 強品店員会上正 確に御寸法を頂 きます

購買組合御指定

大連市大

山通り

知何なる難病も必予 見よ見學歡迎 大連市近元町両本願寺下地人 大連市近元町両本願寺下地人 治療療

友

た、選主は勿能へンガリーのア クベストに住むタルッ夫人であった、荷物の中には一通の手紙 とヘンガリーの関情を物語る数 とへンガリーの関情を物語る数 には「秘の一型好きな日本

ョンは三百九十万

・同女史が华生を捧げたコレク

公開すること、なり二日早朝か 公開すること、なり二日早朝か その他最集し博物館の一部に降

に競長を訪り総置の総集、戦列に競長を訪り総置の総集、戦列 に在住し離見知りの現在牛込區いので數日前、雅てブタペスト 年間閉じ込められ今日に及んだ 年間、日本から何の晋沙汰もなところが、一方タルッ夫へは三 考資料を専門的、米統的に蒐集を関係を受ける。 十歳、勝師の未じ人である として自分の恩齢を三年分貯で したものである、クルツ夫人は

ーガリ

**十年掛りで集めた參考資料** 

親日の老女教員から

質情を物語る

一年、東京博物館倉庫に一

美しい贈物

したほどの親日家であるが、我 日家となつた麒麟は明治四十年 プタベストで日本博覧館が開か

材料集めに來滿 七月の聲を聞いて急に増えた 専門學校級の視察團 洋

春日町 第二〇二一名

廿五日)▲東京廳專七名(廿四日)▲帝大州名(廿五日)▲原大十名(廿五日)▲東京農大十名(廿八八日)▲琉蒲大郎廿一名(廿七五日)▲廣北高商廿二名(十七日)▲南志猷二十二名(十九日)

日を盗らせてゐるがその主なるもの時が増加して係りのものに多性ない。一時杜軽之と急に専門學校級の旅行をない。

類まれてゐるが、これは大熊が大 「田中義一郎」と 大将の清賢たつた證據だと淋しさ 

上海で狙撃された直後軍人田中十一年フィリッピンからの闘り

▲ 講 内 學院 十名(九 日 藩 連) ▲ 愛 州 野 大二 十名(十二日) ▲ 慶 慶 蛮 州 名(十二日) ▲ 慶 慶 蛮 十名(十八日) ▲ ウ の は

料取りが多いと やこれ等のうちには卒郷論文の林 のいと

に関する財籍及び陶器、刺繍

京しい夕化社 他の人の駅の手入法、夏の髪の結 地の人の駅の手入法、夏の髪の結 が、夏の婦人の 奥容 接は でより等、夏の婦人の 奥容 接は でより等、夏の婦人の 奥容 接は

高歴線に觸る大連取引

太田開東長官ら参観 る遞信展覽會 陽東長官夫人ほか在版高等官夫滅信展覧官は適日大人補助の たものだらうといれれてある 親戀し

船

行

返

列車妨害で 懲役一年 二少年に對して

金州管内常山會觀顯屯馬恒財(こと) を州管内常山會觀顯屯馬恒財(こと) を上に数二代位の高塊を出きる五月 ので三日大道州方法院破を出せしめたといる。 年を言。酸した

ルーフを開きましたから御越下さい 常 総 福

格神術療法 も必治の格神術療法を實地に 昭和五年七月三日

借九二五三話電

「じょ、厳談らやアねえや、抽

しがもその手は幣にふかく私め

な観視、上つておまちな

この母を見よ

映畵會開催

磐城町大日活に於て

而國館

重宗務監督

智器君に捧ぐ

毎週紀れ

、本午後一時より四時迄

製芸芸の大学

七月三日より一週間

で、三蔵矢庭に妙香へとびか」

風雲天滿草紙

片岡千惠職主演の時代劇

主催 满洲日報社

讀者階上七十錢階下五十錢

幸技

外长

「客にか? どなた?」

亮之助は耐へかねて注意した。 處へヌクと酸を出した微鍼、 になアんだ、いやにほっしいと思 であると、こばか、しかもどうした。

亮之助は影局に属った。

〇〇〇〇〇 三三三二二 九五ョッカル

五五四四四

で、死之助、不影けに炊香をお「まだ戻らぬぞ」

を、 妙香は 左近かと小腰をから 売之助である。

「あ、これ、三蔵。左近酸がどう これ、三蔵。左近酸がどう

版は關兄あげてピシリフとそ

やるのよし

おいらてもつといい功機を設けて作ら類眼心づらが笑はせやてがる

の娘を、荒職でひつくくつてお

- [7] --

程共二十錢開放

松枝つる子主

大衆文壇の雅 大婦次郎原作 大衆文壇の雅 大婦次郎原作 大衆文壇の雅 大婦次郎原作 大衆文壇の雅 大婦次郎原作 大衆文館の作 山下秀一監督作品 の 本 墨 打 願良草太郎 原作 大衆文地の 大島 京子主治

郎

な手荒なことは止せ、血卍の名

香を様に抱へると、ノッシノッシーであり、定着な坊主だなアー」

「おい、三版!」 「おい、三版!」 「おい、三版!」

近畿、左近様!」

陣CE

あり、助けてえ

のだ、酸料美い女ぢやアねえか」

なアるほどこいつア領

つたらい

さお聞りでございませら」 香は何となしぶきみな過りの

ぱりと云つた。

左近線

(161)

大町滿日勝繼春戰

**井上** 太市氏

本本登良男復帰第一回監督

双手をひろげて校指中の関へ終

電上七十日 電下五十代 電子の母科の者に限り 大月三日から大日活で 大月三日から大日活で 大月三日から大日活で

「この母を見る」 讀者優待割引券 と月三日から大日活っこの祭持念者に限め

花線高代子 サンセンス

ける特やにるムなかは



特三

別日

公封

切

天堂出風呂崎

0

走馬

共 他腰痛 学足の痛む 脚方環 二五元六八八八二五元六八八八 風 0 雲 白生母里大天

藤洗を見日満

愛丞見凌研草

光典よ洋司紙 滿 日

催主

か知れやせん、さうすりやア光禄 でお職様像安心なせえまし、左近 見てとったらしかった。 三酸さすがに目散くもその態を

しく味り乍ら、とつさに庭先にお同じやうなことを云ひわけがま

も適れやうてえんだ。この鍵をかっ、火定の膨胀まで腰をのばして りはすつかり出來上つちまつたん 「ふん、細工は粒々よ、てめえが 「どこぞでうだつてゐる間にカラク

はで騒客の涙を絞るものであると は人のために一生を騒化にする悲 し人のために一生を騒化にする悲

第四 喜剧で情気の薙刀」こ場

は本紙刷り込みの優に関いてありかりからます。 は本紙刷り込みの優に関いたのでデリーは本紙刷り込みの優に関いたのでデリーが震動して今夕大時間よりのでデリーが震動して今夕大時間よのでデリーが震動して今夕大時間より間であるとしたのでデリーが震動して今夕大時間より間が震動したのでデリーを観点を見よしたのでデリーを表記されたい。 日限り沙河口離場に出流すること 今晩殿りで歌舞伎座をうちあげる が西部大選髪好者のため明四日一が西部大選髪好者のため明四日一 沙河口で開演 「この母を見る」の

十五日被日が延びて二十日頃になりさうだとのことに▲減都とぶつりさうだとのことに▲減都とぶつかって夜柑撲になったらどももよ

▲オーケストラ(一)米國ス歌(二) 自午後三時二十分 野球連絡放送 自午後三時二十分 野球連絡放送 (實薬對入縣製銀第二回數)

からす組の大学大郎の大学大郎

場面(以明暗)

つて左三軒目

2本 実施11101五番

加州元本 = 十十四回 銭銭銭銭銭



大劇の二の替 懲よ今夜から ●●●● 二言三二三 大ワリウカヲ 四四二二三

「この母を見よ」の會 『風雲天満草紙』と大日活で 一流在し人普通だつたら二日の入港 乗り渡れて、門司に 乗り渡れて、門司に

中國子惠服の天滿草 稱村蓉子主演 人 り活 次週公開決定 お

此の母を見よれが子の母を見よ 認能 超超特別大家大興行 二日封切 行

王無 州 紀。阪 大

歌かれ・震州月子助岡 大日本麥酒會社 特釀 宅 電話代表五一九九 (白瓶)

演主子妙間久佐·子合百英·子かた江入·子久花瀧 黙髒問 **应轉人同座面畸** 暫監隆 具 阪 田

品質本位の

商店

• に同ご母の兒の此で處何時何又もし妾しかし 。すまりなご母の二第が妾 。たしまに死は母の兒の此・

•……いさ下てつやてつなに・母の四第・母の三第かうどが様皆は時のそ。んせまれ知もかる陷に命運・

篇前書映代時作特ロフ藏惠千活日 演助鈴十五田山・子燁久竹・生彌上川・治文小川市 演主藏惠千岡片作原三津味木々佐 輩グンキ 誰

前の點萬趣興・史生半劍義るゆ 燃に血の郎八平鹽大人養る しせ狂熱を者讀の萬百グ

暗示ではある を木賃宿にな 活、それは、

まりに生々しい現實であり現代社會機構の缺陷の日の悲惨なる末路の物語りです、若い美くしい寡路頭に迷ひ、あらゆる就職への努力も空しく病兒 からず んば死

現代に 生 きんとする女性より〇を して機能することを貯されぬ機能をついては

見本市前書

雑觀的批評と希望

一向意式へない。 を決定する響であるが成だけ学日 を決定する響であるが成だけ学日 を決定する響であるが成だけ学日 を決定する響であるが成だけ学日 を対応からいへば正札付のまる公開 をがあり、一臓これは日むを得ね を解にも基くので今日のところ到 を解除されないところである。

おいます。 日曜は生態者、商人双方が中間手 数料の如きを支続はず、最も少き 数料の如きを支続はず、最も少き

比し本年五月末帰貨は一個一次円貨増加 昨年六月末間三分二厘下落

文換高三年六月以降、四年五月 と四年六月以降、四年五月以降を と四年六月以降、四年五月以降を と四年六月以降、四年一月以 降五月の輸出入億三千二百萬圓、輸 一億九千六百萬圓、輸出減少率 同期輸出六億三千二百萬圓、輸入 一億九千六百萬圓、輸出減少率 一億九千六百萬圓、輸出減少率 一億九千六百萬圓、輸出減少率

一、**貯蓄力減少** 各種銀一、**貯蓄力減少** 各種銀一、**貯蓄力減少** 各種銀一、**貯蓄力減少** 各種銀行郵便貯金金銭信託、郵便年金月以降四年四月增四億六千二百事 萬圓

東京特電三日設 東京商工会議 所はわが經濟駅の不況に購し左の 所はわが經濟駅の不況に購し左の

交換高三年六月以降、四年五月一、信用取引不振 手形れば四千五百萬圓蔵

物價下落(東京) 昭和

田超減四千六百萬弗, 英國は輸出一割三分六厘減、輸入一割四 一、 失業者增加 內務省 社會局調查、四爭九月二十六萬 社會局調查、四爭九月二十六萬 十萬三千五百二十七名、比較增加 十萬三千五百三十七名、比較增加

新經濟政策の批評

小泉遞相の献議せる

(四)

募集が頗る困難

四億

に関し就策をなせることは既報の如くであるが、右に関し取

政府が全債非要債主義を改め公・規能相抵索のは果搾職策と関けるに先づ電話事業機張は無冒は

白石元治郎氏

は到底不可能と思ふが今日 は到底不可能と思ふ次に國際無 は到底不可能と思ふ次に國際無 は到底不可能と思ふ次に國際無 がならぬかどうか電力統領は

であれば何ら有別な結果を期待として低利の融資をなすを軽件として低利の融資をなすを軽件として低利の融資をなすを軽件をして低利の融資をなすを軽件が配道が用在のやうに融資をはずを整件が配道 南本直治郎氏 

滿鐵消費組合

撤廢論は否決 共同仕入機關設置と輸組提携 經調委員會で纏る

この不景氣を見よ

數字上に現はれた實狀

東京商議調査―

中込み少い 土理協館で土理薬関係者の膨質組 合を設立試験中であることは影報 の通りで、総切後相當の日子を被 に楽しないので設立の運びに至ら ない

貨準備高

大連五品原野所では三日櫻内理事が大連五品原野所では三日櫻内理事が楽連する大株主有志と會見し減資整理に関して相談会を開くとして相談会を開くとして相談会を開くとして相談会を開くとして相談会を開くとして相談会を開くと 五品相談會 して

O HOHO

見本市より顕微的見本市の機に入

る、伴しソレダケ取3所長の ・ 官無限は所動設以来所長は ・ 官無限は所動設以来所長は ・ 官無限は所動設以来所長は ・ 官無限しの ・ 官無限しい ・ でもある。 ・ でもある。

● 新五五五百(大連市伊勢町角) ジャパン・ツーリスト・ビューロー が終て御旅行の事は

> 活版·凸版 語印刷

<br/>
<

多少に拘らず御い

手形交換(三百)

奥地市况經

米穀商 心 志摩洋行

婦人の 病は婦人の手で

たまちに

それが聞く人材を民間に求めんな問題ありと関へられるがもしる対題ありと関へられるがもして評価せんとす 色して神伝せんとす

一と(三十二分の九高)来支は三十七邦八分の一と〈八分の一と〈八分の一安〉上一海標金は六百兩人と寄り五百九十一兩丁度と止め宮地の銀價は强調を呈した

産

滿鐵株(弱保合)

株 二十九面

大|引

質に御取扱可中候 電話」は一個人の記述

九三〇年式

「東京二日設置通」 大概省登表、 大月中の金銭流失高は三百六十八 第三千國で総局上半期中の演失高 は二億二千三百八十三萬九千囲と なつた、配して金線出禁止中の昨 をつた、配して金線出禁止中の昨 ある 役害を開催した 法人登記 南京政府の 金銀流失高 令

米高 銀對岸 三千圓

商

買氣ありて 况

大豆强調

・リ、常市関散・リ、常市関散・リ、常市関散・関東ス分一安、健康ボン

内地ボンヤリ 式

存。 特物 三四〇枚 三四〇枚 三四〇枚

為替相場行 年日

正 全、銀勒定)
日本向参灣質(銀貨) 於國地區
同 十五日質(同) 至國北
海向参灣質(銀貨) 於三城00
正 全、金勒定)
「海向参灣質(銀貨) 於三城00
正 全、金勒定)
「海向参灣質(銀貨) 於三城00
正 全、銀勒定)
「海向参灣質(銀貨) 於三城00
正 全、銀勒定)

渾然たる サクマドロップ・ 受らしい形・高雅な色・ゆかしい香

1年1年1年1年1

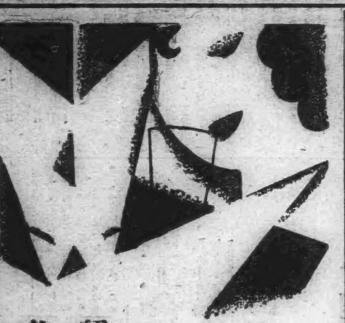
が(乙部) 物(乙部)

· 朱 着

X外内

込所

有



色

を施さ

30

3

生

宮內省御用

て御贈答に最

適

印刷

(日隆金)

東亞印刷能式大連支店 2日元に放映る

活版。石

大連市近江町

清凉飲料

TLOU!

TIPODI!

品質本位の地球獅子

600

亞針弓浪板

所張出店支

ジュラッシア蓄音器

絕大の好評裡に、來る八月を以て多數會員に對する頒布を結了

▲依て今般更に残り六十册と併せて全百十册の特價版を提供する ▽三十册一組▽一組申込めば、 他は十册以上に限り自由

▲斯くの如き至便有利な提供は、今度限りで、絶對に繰返す事を しない。

期一日册

七月十日限り延期一圓 申込金 一組

ゼー ぬ圓

●詳細内容見本を御請求下さい、今すぐ、好機は逸し易い、 一優雅なる古典文學は、善美を極めた本文庫の如きものに盛られ 一たび逸した好機は二度と來ない。 て、益々その悠久の美が輝く。 而も

LILOU.

**Ⅱ**◎

I O Dam I H

亞倫尼不能

機等一號計一監督宗像建築車 事務所 品出宗像主一

特價版會

△古典文學の理想的覆刻として『有朋堂文庫』の名は夙に人口に

▲善書普及の意味を以て養に天下に提供した所の特價版六十册は

膾炙してゐる。

電話代表セー〇一番 大連市山縣通一八二番地 **運送**,自動車 式會社

品產國

女男



タンサン 株式會社 賣販賦々月ケ 



積資 金金

支店出張所。原南京 壹億壹千壹百五十萬**圓** 

化理合

目 特專 ↑付、鑄繳管、鑄鋼、鑄鐵並員爺鑄物、酸素瓦斯 許賣

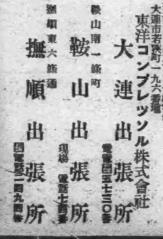
◇鐵橋鐵桁, 社式 鐵骨家屋、豆油容」

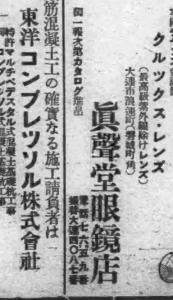
品

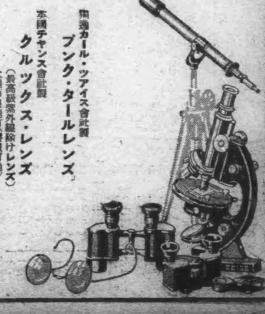


殿を話り









# 妙案の有無を質す 團琢磨男より答解

電話會社案に關い

懲よ調査會を設置

ドイツにおける

失業問題の對策

増加の原因ご對策

一登城につき瀬田職能を求むる権を

のあれるところによれば戦而襲撃 人物を独つし乗って標準に任命して現職の撃支、緊痛撃政策に直転 交渉部長の軍位に据えんとする意は現職の撃支、緊痛撃政策に直転 交渉部長の軍位に据えんとする意 棚を有し特原外相との交渉もこの かられるところによれば戦而襲撃 人物を独つし乗って標準に任命し

昭和製鋼所の方

鞍山製鐵撫順炭礦兩部長も擔任

伍堂新理事語る

芝罘青島海關も

山西派乘取るか

同時に北方海關總稅務司署を

設置するに至らう

満鐵兩理事の

自分の本職は

林奉天 八總領事說有力

滿洲見本市

說

一名は社員より拔擢か

界對策に

首相以下關係閣僚出席上

小況打開策を協議

閣議決定事項

で物色か

らず山西派の手に動することは明一戦を設立ずべしといはれてある 取に大き之宗、青島の無関も滅か に入ると同時に北方陽陽線現務司 取に大き之宗、青島の無関も滅か に入ると同時に北方陽陽線現務司

間島に警官増員

吉林民政廳長等視察の結果

現下の萎縮せる財界を活氣づけして種々意見の開陳あつて三時飲いより

對支對滿蒙策の

重大性に鑑みて

産業の立直

台理化が刻下の急務

席上に於る

※加よりの候補者に関する一部のるが、他に有力なる一般として保 であるが、他に有力なる一般として保 であるが、他に有力なる一般として保 であるが、他に有力なる一般として保 であるが、他に有力なる一般として保 である。

北方政府の樹立をば

2 (含林粋電三日登) 過艘來間島方 に重つて間島における蛛獣人間壁では、全省戦務線長王之体、社 突を遂げたといつて居るが、各自 変を遂げたといって居るが、各自 変を遂げたといって居るが、各自 で変を遂げたといって居るが、各自 で変を遂げたといって居るが、各自 で変を遂げたといって居るが、各自 で変を遂げたといって居るが、各自 で変を遂げたといって居るが、各自 で変を遂げたといって居るが、各自 で変を遂げたといって居るが、各自 で変を遂げたといって居るが、各自 で変を遂げたといって居るが、各自 であるが、右一行中の実験人 はれてあるが、右一行中の実験人 はによっ

経販町 (6502 東 店 (6557 岩砂町 4613 東 店 4813 山銀鍋 (7841 出場所 8935 島ケ神 (9121 出場所 623 飲 厢 623

きのふ朝鮮軍司令部に於て

【東城物電三日融】 物誌、満州の陸町路部誌に海下賜の御町 東取司合部には村上融官にソレム、順連され鰕新祖に終でした、第十九節脈秋山参謀、陽東取司会部に於て沙取省融官前田中 形像遊は三日午前九時脈群取司会部に於て沙取省融官前田中 形像遊は三日午前九時脈群取司会部に於て沙取省融官前田中 形像遊は三日午前九時脈群取司会部村上融官は三日夜龍 た、第十九節脈秋山参謀、陽東取司会部村上融官は三日夜龍

谷口軍令部長加藤參議官訪問 御眞影傳達式

黨問題は孫氏を中心に具體化

【北平特黒三日酸】北方政府組織 したので山西証と奉天派に信用あ であつた張作相氏は本日午前五時につき麒錦山氏は認にこれが欄立 る孫原汚氏を正配の中心人物とし 特吉林に帰任したにつき麒錦山氏は認にこれが欄立 る孫原汚氏を正配の中心人物とし 特吉林に帰任したにつき麒錦山氏は認にこれが欄立 る孫原汚氏を正配の中心人物とし 特吉林に帰任した 閻錫山氏遂に承認 当場山氏遂に承認

減收豫想

『東京物電三日港』 不懸無時代の

大タクの 電話番號

經濟關係を結ぶ

全露共産大會で强調但し同主義への轉向は排斥

五品の減資は

理事長、大株主懇談の結果

總會は廿三日開催

五百萬圓に決定 ▲竹中政一氏(鴻線經理部次長) 同上 ▲高橋薩一氏(貴族院調員) 同上 來連 本應喜入郎 (余騰院職員) 同 上



鎌を添ふ

李平行が直ぐ後を譲つ長け、願い一手を開けたのが最初であつて、小手を開けたのが最初であつて、小手を開けたのが最初であつて、小

たいといふ有機だ、多少の不便 ないといふ有機だ、多少の不便 は認んでも文形人と選出して居れ はないといる有機だ、多少の不便

日本人は支那人相手の簡優に大きた損失を受けてあると思つてある

私は、新市街が出来たために

日華商共に疲弊

銀行家の積極的活躍を望む

補別取引所長

もその一方には突然なべ景瀬に因 りの高い家賃を収立てよるる、間

をしてある、価も此の現象に直配。 まで低密級を喰ってるた率犬は としてある、価も此の現象に直配。 までは密級を喰ってるた率犬は と

| 機化正動に 本語に 通行し は で として 避暑 場置 人 オスターニンを として 避暑 場置 人 オスターニンを として 避暑 場置 人 オスターニンを

家は日毎に増加し町によっては二 変速した代用配窓二十餘戸に遂した代用配窓二十餘戸に遂した代用配窓二十餘戸に遂し

避暑家屋に放火

家賃引下論擡頭

一割程度引下が妥當

なり目動車はレールの下敷に木端をかり目動車はレールの下敷に木端を上なり四邊はからくれない。 一時は交通親駅な箇所だけに黒山 一時は交通親駅な箇所だけに黒山

に変形商人の鍼肉引揚げの質め容

复家激增-

重傷生命危篤、六名は人事不省、那人少女と外一名が即死し四名

下したので出口をふさがれたその時貨物車が驀進し來り然に乗合自時貨物車が驀進し來り然に乗合自時貨物車が驀進し水り然に乗合自時貨物車が驀進し水のであつたが乗客がより、ネクラフスキー、オウトフ助き、ネクラフスキー、

行掛りを水に流して 外部には同氏の心事に疑惑を抱き新聞界の一部でも匿谷氏問費 を新聞界の一部でも匿谷氏問費 を新聞界の一部でも匿谷氏問費 の烽火を揚げんとする形勢であ る、匿谷氏は二月三日は東部線 を加いが吉川之康氏始め同氏の 再任に努力した人の手前線でも 引受けなければならぬ立場に在 り、然る時は前の軍任拒否の鑒 り、然る時は前の軍任拒否の鑒 り、然る時は前の軍任拒否の鑒

寮日町を中心とする隣接谷町南店 つて子を持つ製造と連順主教 は一日から城品附きで融合大薗出 注意の上にも注意して同様のは一日から城品附きで融合大薗出 注意の上にも注意して同様のは一日から城品附きで融合大薗出 さいクラした目を持つ製造と連順主教 を防ぐことが城く逝った秀林 切めてもの手向であらう

尚議新 正副 會 頭

といふ要認が高い

さびし

用には料金を輸高とし民會財漁の 開売士の秩学大祭は九月九日の瀬 では、低し當日天候不與なれば十一 た、低し當日天候不與なれば十一

奉

結局就任を見ん

聯合賣出

哈 爾 賓

自動車貨車衝突 乘客六名死傷す 哈爾賓初めての椿事

関係院を慰訪調査を遂げ六日南下小坂拓游大宮一行は三日來哈し各 

赤痢盆

二歳から四歳

の幼兒に多い

何るり

も寝冷を注意

を揺伝し敷麹宴を催したが、來る **記者の一行が死哈するのでヤット** 六日の日曜には大連から補郷出入

爼

北方の際京であると

曹剛會長に常選した 曹剛會長に常選した 曹剛會長に常選した

一周年記念日

滿紡操業復舊

職工も復職

府の命令なりとて省政府より電命は無いた。右は一日朝突破府成立記とし谷戸に國際を稼螂せた。右は一日朝突然南京政府の命令なりとし谷戸に國際を稼螂せ

日午前十時頃首無し三十二三歳の て目下極力階へ関 を では、 無職職では の は中を四つにして死職を同處に 男死職が愛見された、 撫職職では の は中を四つにして死職を同處に 別人職 では の は中を四つにして死職を同處に がいましたものらしいと

露天掘ボタ捨場に

呼戻し從而通り夜間作業を開始する 質注文整到九月凝までも質約する 質注文整到九月凝までも質約する 質注文整到九月凝までも質約する に到ったので一旦解雇した職工を に到ったので一旦解雇した職工を

資産家の果

必死の大努力

加世田上京委員より第二報

手の質性が目下取調中である が、踏出盤の過失か、自動車建筑が、踏出盤の過失か、自動車建筑を制度した。 が、踏出盤の過失か、自動車建筑を調査した。 が、踏出盤の過失か、自動車建筑を調査した。

亦で女の首無死體 不義の男女を成敗か

語、高艦民館長の競型で入木感録 園夜午後七時から矢倉にて加藤商 園を将門し午髪を共にすると、協 東線にては特區警官學校の學生に とを承襲した、巡警の別子は避害のため東部線に向ふと 等の演绎を記べてるたが品々窓で 大洋十六元と衣服二窟を聴まれ 文那の幾重服に全く支那人と同様 のの鍵をして解くハルピンに来り民 後は北端を披逸してある間に阿片 濱江

初巡視軍司令官

平

貿易杜絕上

人の説別會は二日正午娘内敷砂路 金州婦人館長田邊前民政支衛長夫 の説別會は二日正午娘内敷砂路

新任金州民政支架長骨田遺養氏は 二日午前十時職(成支際域)一同に 上新任の挨拶を述べたる後衛務隊 大熊に挨拶職りをはしたり

二回歌

宇佐栗教派局長館は一日郷七列車宇佐栗教派局長館は一日郷七列車 解低市内和方職を融調が歴の機響の機響の機響を受視事物長は二十九日 字佐美資源局長官 

でも年々やりにくくなつてあるはじめ全部日本人の手を通つてるたちのが支那商人が大阪に行つてたちのが支那商人が大阪に行つてたちのが支那商人が大阪に行つても官民合統の泰天統約職が出来る、国産族は年々版の泰天統約職が出来る。 受でも年々やりにくくなつてゐる 受でも年々やりにくくなつてゐる。特 ではない、零天は何の面 ではない、零天は何の面 ではない、零天は何の面 新華があるといふものだ。新市場 は便利で無持ちがよからうがそれ だけ家賞も高く生活費や經常費も あがす。その上支那人のお願客から かるのである、現在支那人は があるのである、現在支那人は は便利で無められない除寒後も ものでなければ態々が市街響も

吾等的治治

一方 支飛艇はどうか、私は 窓気といふものを今年になって始。 窓気といふものを今年になって始。 野し、一般行名中の中方に支那人と 原内ですつかり行誌つて終ひ、此 原内ですつかり行誌つて終ひ、此 のま」では野楽にも期待は出来な る必要があるが、整書り間工館製 があるが、整書り間工館製 があるが、整書り間工館製 が発信して終め、此 

大商職は別であるが、緑内の日本大商職は別であるが、緑内に戻っことはない、三非などのであるし、第一支那人が家を貸さであるし、第一支那人が家を貸さであるし、第一支那人が家を貸さであるし、第一支那人が家を貸さであるし、第一支那人が家を貸さであるが、家内の反對を振して、こ十五年間此 

危機に直面す 打通線敷設に關して

**歡送迎會** 

である

政府要路其他に陳情

多数見送を受け を指上でる等職んなる見激りで に難関係の変形人が性別のためて に難関係の変形人が性別のためで 若原前驛長出

巡査採用試験

牧自己で、次川合 近く離離社低する数島喜三郎氏のために市中修育志は来る五日午後 や時半より松花ホテルにおいて姿 が高の事、田脳和郷者は商工会 が高の事、田脳和郷者は商工会 が高の事、田脳和郷者は商工会 が高の事、田脳和郷者は商工会 が高の事、田田和本名を が高の事、田田和本名を は一年を いづれかに申込まれたし

主事會議に列騰のため一日第十四 関原郵便局杯、松山、山中の三主 来る七日から三月間大温に開催される全浦 見本展示館には機能が十名の揺標を受けたるが出連の加て日本側三千名を割りたるが出連のがで定は過剰であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが最近であったが、

本溪湖

開原局三主事出連

四、五兩日開催 明原小學校の七夕管樂會は影響の 時半より駆響を開め好、五日午後と 半より駆響を開め好、五日午後と 半より駆響を開め好、五日午後と 中はより取響を開め好、五日午後と 中はより取響を開めなり、五日午後と 本とよき、中間の方、五日午後と でとよき、中間の方、五日午後と

獨奏會

七夕音樂會

原

ム者にはやいせずに進まない者を 近つて民るが一方やらう/と云 いや/と云ふのを無理に飲住と

便局長は三十円最低した 山中郵便局長歸任

村 岩並、坂井本東北、川崎、 村 岩並、坂井本東北、川崎、 川本本館野(福井)長鹽夫人、田 川本本館野(福井)長鹽夫人、田 川本本館野(福井)長鹽夫人、田 川本本館野(福井)長鹽夫人、田 川本本名館野(福井)長豐夫人、田 川本本名館野(福井)長豐夫人、田 一本郷東、福井)長畑師範、鈴木本府祝言 五六)長頭師範、鈴木本府祝言

加の大石橋が大石橋

石

橋

遠山滿 剣山溝の 蜂谷氏披露與行

ら無理解な大部分の家主は

0

民會評議員會

鎌田氏令息逝く

10大円 では、日本のでは、日本

D

で代表派遣に代表派遣

百年の計に非ず

新義州公職者大會において

決議文を要路に送る

する男

ロハ飲と窃盗

本町警官派出所、野電源出所にあつる営め改造中であった二本町倶樂部もいよく出來上つたので同所内に移転し藤田田井のたので同所内に移転し藤田田井の

との事である

早くも馬術の

城

今秋大會開催で

首相以下要路を歴訪し 海濱聚落兒童

十五日 に出発 ・ 大五日 に出発 ・ 本名十五日十七時三十六分夏、列 車にて出連し二十三日大連發二十 四日十一時二十一分開原聯營業の ※定なりと

一)マルヌ音

家の田

とも政府の表面に於ける直接の統治者は固より蒙古人なるも、其内治者は固より蒙古人なるも、其内が表面に於ける直接の統治

(三統治組織)

を一般に認められたるが如し得るに至らざるも衝次其實力を

にして、此機嫌たるや超然絶難獲にして、此機嫌たるや超然絶難獲

日

(日曜金)

....(2)..... 0

地でした事は日露神経で脚判明した。 はつその交通調、その民族性、そ の政機等から見て、歌歌が動域を の政機等から見て、歌歌が動域を を の政機等から見て、歌歌が動域を を のの機等から見て、歌歌が動域を を のの機等がら見て、歌歌が動域を を のの機等がら見て、歌歌が動域を を ののでがある。 の際数手段に出られるば、底無し しめやうとし野を漕めて派却する しめやうとし野を漕めて派却する

せ、それから電歌に向へ―と言った。それから電歌に向へ―と言った。それから電歌に向ったが形となり、 ふのであ

クルデルゼイもほうした。

が、年と共に園研施部の光館撮影 するに伴ひ、大駅に増して行く自 信と劈類とがその片略に攻勢傾位 號の方路にまで修正されたのであ

戦術的清算

间大歐

るものと見ねばなられと佛軍は想! マベルギーを離ふて進出するだけであり、強つ マベルギーを確ふて進出するだけ殴く 

自 定したのであつた。 三 ル神以西は全く手を破き、その主 力をヴェルよン附近に襲中した。 動の主力がアルデンヌ方蔵から来 れば東ヘフオシジュ山殿を超えて れが東ヘフオシジュ山殿を超えて なれず、キューレンヌを離壊して敵が なった。若し又敵が 施子は早く

うの子談がもりませれてあげませたしがその疑ひを解いてあげませ 松に連れら

大阪天王寺西門北の辻

化粧用

0

点の

のミツワ石酸本舗

(新株の金田藤東京七丁の本) 丸見屋商店

中、原子はそのあまり奇怪な話に性の 6子群を乗つて逃げたのですよ」 何といふ驚くべき物語りだらう 何といふ驚くべき物語りだらう

兩語に通じ又日本を s能で解→ 原倫に於ける第一人者たり露支 想聽健文筆をよくし其事勘規で

▲手エルガルント長官、御料布多) 性不詳 此外最近青年新人派中に在り 比外最近青年新人派中に在り 日本に留郷し日本語を解す

なる政策の然らしむ

育 なくサビ

他に

ミツワ歯流液

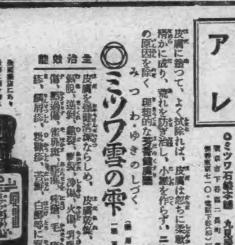
職人二十級 第人 二十個

に 選取の進出を相常期間阻止してく を認ることは出来まいかい、全べ を認ることは出来まいかい、全べ ために、あんな饰ろしい つが 思って逃げ出さうとする時

ものかさら言つて尋ねるの あなた何を考へてるの、まさかあなたは成 なるのだつ は、一覧に使ってある出来事を手が、まました。そこであたしは中松を は、生態に使ってるる出来事を手が、これにいいている。 がは、一覧に使ってるる出来事を手が、これにいいている。 がは、一覧に使ってるる出来事を手が、またしだけはへって行い。 がは、一覧に使ってるる出来事を手が、またしだけはへって行います。 製って逃げ出さらとする時に、成果子ととするたしは素早く暗がかって来たので来たので 隠したので、

歌子獣を疑って!

北計量町いめなこや本店を不思調か名業 も不思調か名業 大阪市長畑 大阪市長畑 大阪市長畑 大阪市長畑 大阪市長畑 大阪市長畑 大阪市長畑 大阪市長畑 大阪市長畑



(B E E)

日・英・倫東資特許・野県諸大家宮職推奨

ヴィタミン肝海球(源薬八)定戦金三

油廠

入)定價 金三國

東京市下谷田二長町 金乗買票のでので、東京市下谷田二長町 金乗買

文献・説明書並に見本品送呈 右の各種の有効物質に変芽糖及び含窒素 ▼改善料の肝油ドロップスの特色▲

日英米佛專賣特許 醫學諸大家實驗推獎 美味佳香の菓子形を呈し、小見は勿論何人の嗜好 別肝油ドロップス .....

一 正 史作

大阪南瓜新川服権東語 大阪南瓜新川服権東語 大阪南瓜新川服権東語 大阪市の三七番

(132)

慶良品案內

滕幾久造畵

是石林 西馬力 三五十週 小動置 二字三馬力 百五十週

大阪市西淀川區大仁本町三丁

(四)

2

語

ない、強い力がこもつてゐた。 作とはどんな関係があるのですの いふ人の不採なんですか」 「いいえ。違ひます。あの人の血。

ではかし……」
は是子が何か書はうとするのを
は男は力强く押へつけるやうに、
「いゝえ、これは決して問題ひの
り、あたしは例の河内兵部の事件
からあの女を離てから注意してる。
ました。—— 牛松。あの男があの すの牛松といふのけ昔、あたし女の事を私に知らせてくれたの 後だつたのですかられ」

大士に限るし、皮質が変形を置り、支那人を取り、大士に限る所あらん。

「一般なななりと信子、之れ支那を置り、支那人を以て正義のからとす。文章が支那といるものあるもその交流は恐れたるのの時大に脱られ、四千年系統成されたるのの時大とは、四千年系統成された。

を と話を選ひ、或は部側節見世物師 大男子は奴僕とし終生其家に奴隷的 大選までを多しとす、買へる者は なの子女を置りて取ず、常識より五 なの子女を置りて取ず、常識より五 ない。 は の子女を置りて取ず、常識より五 ない。 は の子女を置いて いまして のがしまった。 という は でいっこう は でいっと は でいまか に でいっき は でいっこう は でいい は でいっこう は でいっこう は でいっこう は でいっこう は

客の枕にして

東し一面をも興へず感覚な阪事な

して浦内兵部の子は

支人の特異性(上)

をは如何、僧、叔は如何?と砂礫、中野群は或はあらん、而も廃棄があるの、多くは成功後の理難があるるを要す、支人の不仁、疾甚の難があるるを要す。大力をは成功後の理難がある。

な私の数を見ると、いち早く反歌 の方向へ逃げて行つて了りました いに、安藤婆さんの宅から飛出し してね。であの晩も、そつとあの宅に暫く働いてゐた事があるので 但し日本三電停西辻北入左側代の市浪速區河原町二丁目大阪市浪速區河原町二丁目大阪市浪速區河原町二丁目大阪市浪速區河原町二丁目大阪市浪速區河原町二丁目大阪市浪速區河原町二丁目

は必ずしも勢襲政府の援助を待っ なして、是一面蒙古人の呼感を恐れ たるに依るものなるも、他間に於 に治政の要領を會得し長早越だし に治政の要領を會得し長早越だし を確信したる結果なりと言ふを聞 なりる程度に達し外蒙政府の競略を恐れ なりと言ふを聞 ながするに青年新人がほど ながするに青年新人がほど ながするに青年新人がほど ながするに青年新人がほど ながするに青年新人がほど ながいまするの必要なき ながいまするの必要なき なが、要するに青年新人がほど ながいまする。

に関す したのでせう」 したのでせう」 したのでせう」 かであった。あょ、彼女 かせき込んだ様子 い

時、軽単物にあらつ

で託れるのであった。あょ、彼女 は成離子説を疑つてゐるのだ。成 様子談こそ、あの察集街事件の興 を知らないと考へてゐるのだ。成

●修繕法會地無料数度短時日智得 タイヤー修繕機 タイヤー修繕機

ローション

科

光線治療は今!經濟五十大達治療院

報

大分縣 高田町 九州 豊園 大分縣 高田町 九州 豊園 大分縣 高田町 九州 豊園 大分縣 高田町 九州 豊園 大分縣 高田町 九州 豊園

能效治主 

○ミッワ鼻病液

鼻腔内分泌腺を調節し且消炎作用 あるを以て鼻病に確實なる効ある

はこック家庭歌中の歌手派と共に左記歌起形香水が有ります。手髪の器首を助け受養を良くし、霊脂があります。手髪の器首を助け受養を良くし、霊脂を防ぎ、寒快な世香は頭腦を漸級ならじめます。

咽

南町河三場廣西市連大

製田

○開業自由、療院開設希望者照會あれる ○結核の征服には日光の外になし。 ○治療器の販賣、貸無をなる。 ※物や人工光線などの適に及ぶ選に非ず ※物や人工光線などの適に及ぶ選に非ず ※物や人工光線などの適に及ぶ選に非ず ※物や人工光線などの適に及ぶ選に非ず ※物や人工光線などの適に及ぶ選に非ず ※物や人工光線などの適に及ぶ選に非ず ※物や人工光線などの適に及ぶ選に非ず ※物や人工光線などの適に及ぶ選に非ず ※物や人工光線などの適に及ぶ選に非ず

鼻

100 STORE ST

能效治主 

耳

澤

太陽光線療法學、交要發行

て照射する

脫 〇ミッワ養毛液へ

芳香精、其他教養を含んで居ります。本別には本席特製のヘプトールまでは本別を用ひれば效果は一層で ・本別には本店特製のヘプトール 用監

5.58

新

澤山入荷致しました物諸材料品。夏物卓子掛。レース類。籐の製品物語材料品。夏物卓子掛。レース類。籐の製品 大連市信濃町(市場正門前)

15 Ξ 七番

荷 御 案 内

化吸收率が運ふ事は當然であ

かと はキャベクの味噌川 はますべつの味噌川

ち取るものは一大パーセントも

身間が丈夫になる。はの論、

イワキ町 新古

がひいては一國の大口食糖問際に

までよりもずつと食道を少くして

るよい事になりますから、自分の

二人に、第一日はよく個み、二日日は粗彩な個み方をさせて見た紹介を記しました。

日本國民全體が食物を はく噛めば現下の食糧

用ひて行つたものでありますが、その一日分の成分を示しますと全を素二四、八一大、脂肪一四、三一二、灰分一五、六八六、機能五一二、灰分一五、六八六、機能五

即ち五回乃至十二回帰んだ試験のは分ります、大に少く間んだ感。

二杯で濟み

大體吸收率

のが

関東を示します

国民が脱野に咀嚼したならば、今な事なく、しかも若じ日本全體のな事が足に関るやう

第6 第一次 三十七番地 第6 第四条線付引延し 第一次 三十七番地 第一次 三十七番地 第一次 三十七番地 第一次 三十七番地

先づ大十回響

同品同量を

代となって挑戦されます、しかしが、此の中更に脂肪や含水炭素は

れによつて、今まで三杯食べたもれによつて、今まで三杯食べたも

新されたものであり、日の駅から表を 高唱せられてるる折から最も であっても、そこに自分の作った を呼びてるるのを眺める時日の作った を中びてるるのを眺める時日の作った であっても、そこに自分の作った が戻き自分の作った ができると思ひます、 の駅か二端の側が の側が のができると思びます。 であっても、そこに自分の作った ができると思びます。 のができると思びます。 のができる。 のができると思びます。 のができると思びます。 のができると思びます。 のができると思びます。 のができると思びます。 のができる。 のができると思びます。 のができると思びます。 のができると思びます。 のができる。 の

護

**薬及治療** 

器人七二二番

御用金は

具糧問題と

統言傳

在來の総裁にち

を品い皮 店3売(市

聖徳街一丁目一九・駅下すのに衛田郡政権情報を全家である。

高い意味を持つた多くのものが存っな事など趣味としては他の概製の静的感情にやはらげられるとか、自然を變する無持を起させると云

緊縮ポスター

當選圖案(小學生の部)

左一二等

事に考へ直してすべての事にあたて最も正しい生き方であると云ふ

大に對し又

H

1144

強く事は女の天職であってたれを 発ふする事は即ち

よって食事の仕度をし、

子供を育品

れで事が足ると云

も今日の社會民族から者へて認識とかって別女ともにその大川航の影響とかっては個人を 他のであります。否関の記念とかっては個人を 他ので表すにその大川航の影響とか云 の職談に家の中にまでも同人を のであります。否関電影とか云 るのであります。否関電影とか云 るのであります。否関電影とか云 のであります。否関電影とか云

今きでのやうに次は夫、男は

夫は外で働き、要はそれに

が総が人の仕事は育見教育、家政の監理、夫や舅姑への奉ですべてが足れりと考べてある者がかなり多いやうです。 段一路家の内にあつて原統を守る事を以てそれやりです。 段一路家の内にあつて原統を守る事を以てそれ

はすべて女は女なるが故に貴い社館の存在であると云ふ事代で以て最も重要なものとするのでありますが、その出政

合せて家を整へ、関を聴すべきであると云ふ心掛けるなけをはつきりと目覚し、家に於ても男と共に働き、男と力を

家

# 家庭の主婦は 國産愛用の女軍

日本女子大學激擾 主婦は先づ率先し て好模範を示せ 秀子女史

天に輝かしめる事が出来ると思は を記憶には関策富強の光流の観音を内 をには関策富強の光流の観音を内 をには関策富強の光流の観音を内 をには関策富強の光流の観音を内 を見した。 私ともは野歌を攻防す を見には関策富強の光流の観音を内 が出来ると思は れるのであります。

夏の日光

郷水を拭き取り日陰に休むやうとなどには海から上つたらきれいに

vo

春木和夫 謠

忘げれが終 れが終 たかれたか

たよーつ 落ちてるた

3

得のゆめ きのふ見たる

大連市大山面 小体又七支店

高海陽最ナ邦同同政府 品 ン文 タ 切配内 イ ブ まりど印交 ラ 動イイ ンス 集イ 塵紙 金

此印に限る 一般 では、 一

**唐** 

古書面 は東京の 大大大 (1) とは、 大大 (1) とは、 大いまや電大大〇二番 (1) を開発用 でかひや電石内三と

天帆 高級純生漁お使紙は

事門のヤナギヤへのは

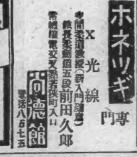
の個の過過

高僧に買受ます 別の場合は岩族 大質の場合は岩族 大質の場合は岩族 秘密嚴守 弊店の特色 簡便なる 貸出勉强





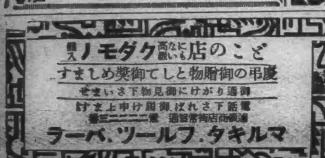




通勤家政婦 (家科四)一日一圓 完確實迅速返還 安德町五七電話二人公 等港町五七電話二人公 合

火事。用意。用意。用意。

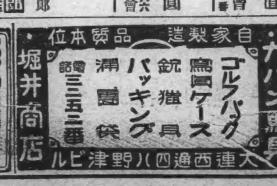
傳家 















實印の御用命は

町の老舗

女給 入用 山脈通り

本年 課、レコードは各組 原建の工作は各組 の場へて居ります

花かげに

類は対象いたのは、

定つでた を すらひに

海のゆめ

家庭園藝の趣味

作物を通じて大自然の 妙味を知ることが出來る一

家の健康を生む

ない人には想像の出来ないところの配全さ、明るさ楽しさは郷敵のの配全さ、明るさ楽しさは郷敵ののをいるといいとの家庭 

良馬

小寺藥局

大連位馬町西広場上ル 大連正陸銀行裏通

ミア

マツサージ院

中キッ精丁会

本三月器 修理 早達 ※頭線入養育器破格賣出

大阪天龍一大大阪天龍一大大阪天龍一大大阪天龍一大大阪天龍一大大田川、大阪田川、町で開い五七十大所安町五七十大所安町五七十大阪天龍一大大阪天龍一大大阪天龍一大大阪天龍一大大阪天龍一大大阪天龍一大大阪天龍

持田順天堂電話三二〇九番特田順天堂電話三二〇九番 一級、久治療、 ・ のはなやもガは御水電下さい のはなやもガは御水電下さい のはなやもガは御水電下さい では前十一回腸門停留大男ク前 ・ からは

林毒 性學丸 鍼灸

衛

沙朗

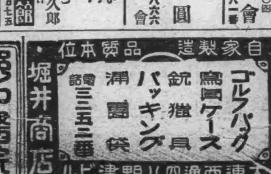
満

日案内

西本

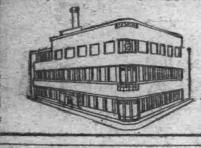








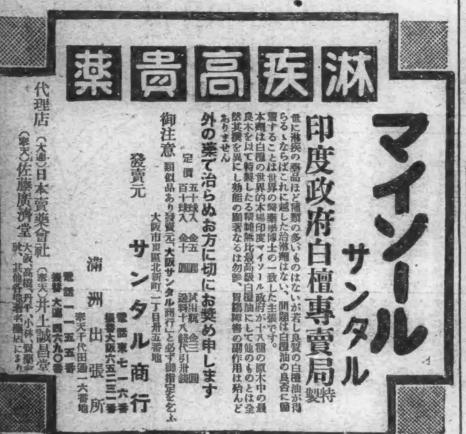
3



## 成落築新



### 年周五十二刊創







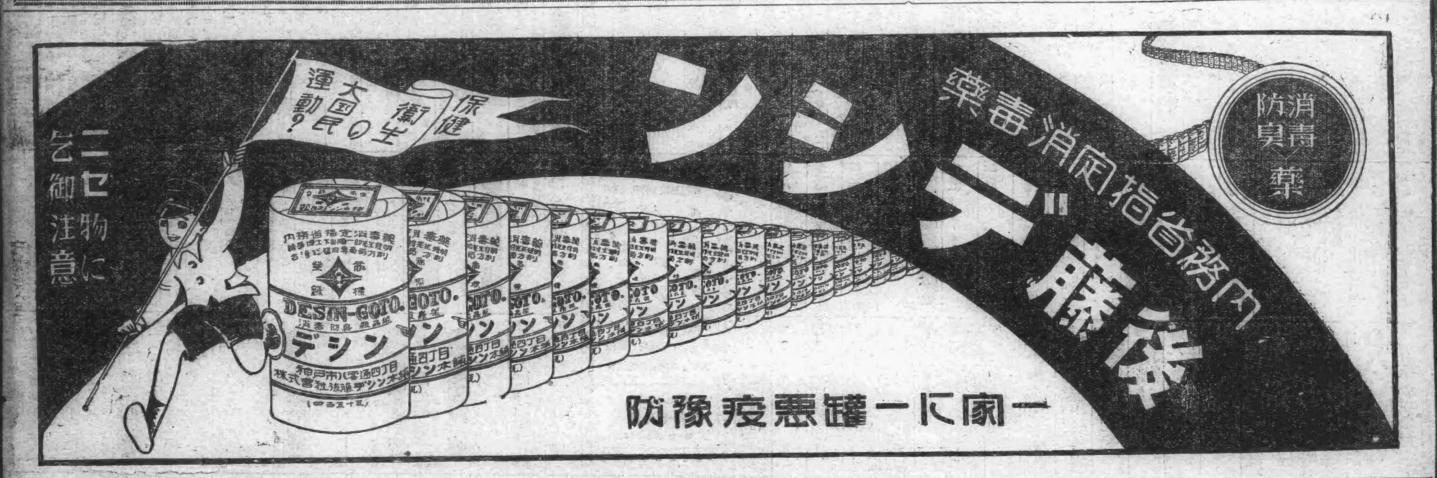
消息消



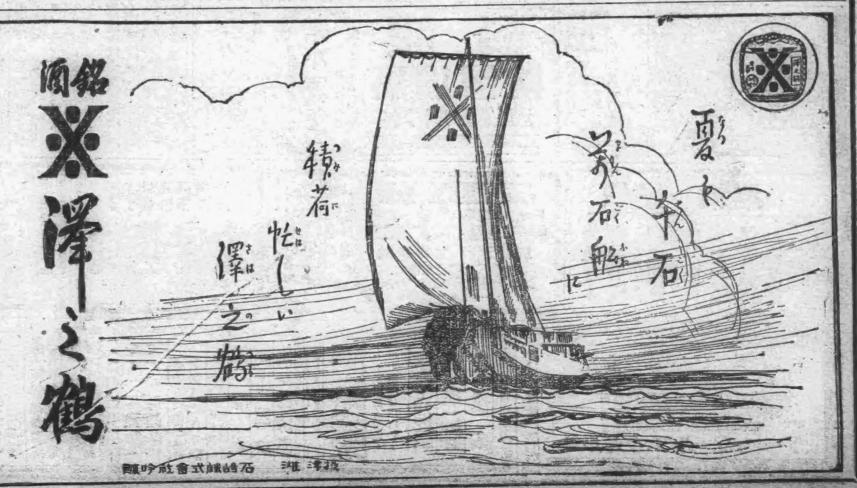
力气物的

所 肥 製 木 多 盒裝

港府別州播







くりした氣持で昏影を訪れた肥者を支さにその物脈にあらわし燃ったれて降低した、大低を凝し得たかれて降低した。大低を凝し得た

に促され久方ぶりの

贈のうちを

# あめりか丸遅れて入港 見本市に出席の大勢の人々や 惱まされ

色んな顔觸れ乗せて

た戦略だけに、色みな方式が飛んで膨んしい事限りない挑された横洲見本市出席の戦略百五十名、各縣から郷ま 既り誇り……なり、本では、一般には五品典事をより遅れ午後二時代に至り入港した同船には五品典事権の定期船あめりか丸も同じくガスの爲め航行を担まれ ランーズンに入りの航音港丸も歌定より選れたが、三日 長の呼戦高き面戦者 警部長総権
が当部長総権
第第氏、それに合唆から
を対する

新規事業は **「後三時過、ラウドスピーカーが放送する電影マー** 總裁の肚にある 總會は平穩に終つた 竹中經理部次長談 するのが本常だといふのでや當時に對外的に見てやはり投管時に對外的に見てやはり投

取引所長?

篠崎書記長語る 殿はいよく來る六日午間も時と間大連市中軍野精強野旅校で展示 の中心となつてみる本社主機第二 」」なった 鐵をの如し 協定をし 一様一時本社会 ・日本社会 

男女の身元

薩張り知らない

製鋼所運動は今後も持續

**O**....

中で聞いて書いてるる はこれでとかく批評が なの割守中によく私の なの割守中によく私の

道能公立普通學校を育尺な一般に致見され無人の理を奬のられ要女キタ子はその為男は朝 ルから派順方面へ繋離れしたが、つた自縄京城本町樋口一雄 は一旦落付いた起ヶ浦の脳易ホテら大連へ飛行機配落のトツ 機で高頭して來たのを悟つた男女

ものと如く男女は交しても

一部に放在してあるもので彼等の 一様に散在してゐるもので彼等の百名あり二道講を中心として附近

といふにある、彼等の一味は約二

女は總督府高官夫人

男は同家の家庭教師

くて正は計

ラの内容は 第一次 に於て達成せられ 第一次 に於て達成せられ 第一次 に於て達成せられ を襲撃し走狗に死刑を断行せ 場を襲撃し走狗に死刑を断行せ るとする農村は老幼男女の別な く一害に参加せよ

本路規定、使用ルール、神宮ルール(二)を使用は、七回ゲーム・ 一組宛の優浪歌▲試合組数、十一組宛の優浪歌▲試合組数、十一個原用球、丸菱ボール▲天 「保、天候葉はしき■は雨軍試合」。 津田憲信、渡邊通泰、川原貞夫川村謹一郎、陽口茂、笠原郷三 飛行機駈落の 

來る六日北公園滿鐵コー 本社主催にて擧行

今回までの影響では消像二 の発冠を振ひ、悪まれたま の発冠を振ひ、悪まれたま

鮮支人共產黨員

またも春典動を策し

電話五六八五・二六六三世の監部通電車所後島引力

内科專門

櫻井内科 電話もOOD
を 変治町(天金前)

公正社事業商事部

電視ビラを撤布したので関係當品 (単語)の暴動を策してゐるらし

が強見し日下戦が調査中であるビ

七月一日より十五日まで

世界の粹を蒐た

洋酒||洋煙草||食料品各種

元贈答品特價大賣出

珍しき品、確實なる品、信用ある品、皆樣必ず御滿足の品

大連市西通り九三

百五十名來演、雨の大連の街をの 清壊機識或正前の社會際では社員の家庭に でみは大しやぎであるが上陸と共 の職業獎職のため、為、鬼、鬼・ 製質素楽器の出迎へを与け来を所 満鐵社員の 副業獎勵 社員會が引受け

で一番を貸興し子供が出れたであるが撃や鶏は質費を申受 区を批戯館に返すのだと

日 分與するつもりで飼育してゐるが 職職改正と共に社會職は地方既の 一保に輸小され手が硼らなくなっ なって全部社員會が現受けること なって全部社員會が現受けること なった、近く分與を開始する皆 であるが撃や鶏は襲撃を申受け至。

が 変を現はした整子の夫妻は の の坂を越して監査上郎に変へを来 の の坂を越して監査上郎に変へを来 の の坂を越して監査上郎に変へを来 してある同家の子供二人の家庭教師と に震撼の不満を訴へる薬子と年若 で整子にはある種の充たされぬ幽 に震撼の不満を訴へる薬子と年若 の の坂を越して監査上郎に変へを来 してある同家の子供二人の家庭教師と を正治は常然過ぎる歴典歌した。 を正治は常然過ぎる歴典歌した。 を正治は常然過ぎる歴典歌した。 を正治は常然過ぎる歴典歌した。 とておっている。 で変子にはある種の充たされぬ幽 とておっている。 を変している。 を変している。 とで表している。 とている。 といる。 といる

ツタスドダブルスで三木は龍に脱ツタスドダブルスで三木は龍に脱っていたがける全英庭球薬手棚大會を

スコアー左の如し

明はれ間が、正治のみテロンに 明はれ間が、正治のみテロンに 自分は可もで、正治のみテロンに の安任を求むべく監察ちして来た の安任を求むべく監察ちして来た の安任を求むべく監察ちして来た シガー譲入一

R藤殿はアメリカ同志 歌の後テルデン、アリー 試合准決勝は左の如く

度能して京城師観に墨び西大門小 治は鳥坂縣東信報下北條村生れ大 治は鳥坂縣東信報下北條村生れ大 鎌

兩軍メムバー決定す

對抗軟式庭球戰

まして ・ 大人(米、【六――二]人 (佛) ・ 大人(米、【六――二]人 (佛)

THE PARTY OF THE P 珍味中心 大氣焦臭

「満州日報」が満蒙開發の と考察せらる。 と考察せらる。 と考察せらる。

七鳳三十銭より

通學用防水マント……」関大数は

紳士用 レーンコー 速納 活動寫眞、 演力

七月四日より浪速町に於て

僧製鐵所-實業一

囘戰

午後四時半-

(甲)一圓(乙)五十錢(丙)二十錢 『業團球場にて

全英庭球戦

午後一時から満倶球場で

准決勝戰

日本橋小學校—常盤小學校戰

・・・・七月十六日 抽籤券御買上高二圓毎に一枚 抽籤により五百名夏家河子園 遊會招待 七月 宅 計 討 六五番

(日曜金) 百 (七) 戦場所州内設置で上京陳僧委員に はれた大連商工会議所書記長額 だち三日入港のあめりか丸で聞出 たち三日入港のあめりか丸で聞出 たち三日入港のあめりか丸で聞出 たち三日入港のあめりか丸で聞出 たち三日入港のあめりか丸で聞出 たち三日入港のあめりか丸で聞出 たったが■氏の上京中「大連収号所 と云ふ

もつて來いの遊び場

濁つた水も衛生上に害はない

夏家河子の海岸

行く。個学な女性的な思想である

色、黒の大小河童で埋め大路沢だ、廣い海

将客の便を聞つてゐるがよ

山に居る郷子の身内がこれも飛行の簡易ホテル二階百九號電場情深『總督府某高官夫人入職報 れず追つ手もやむなく引き場情深『總督府某高官夫人入職報 れず追つ手もやむなく引きなりを厳教戦が出正治("こ)女は京 たが、狂獣の影子は之れを の数がふえるが本年既に てるると見え毎年や の人婦い若

健康増進に

戶外運動獎勵

海水浴場巡りの

かして當日の審判員は兩軍より

脱尖膨炎側脈結核にて比へ……ことが地の暗鏡を脱れ見者で在無路人を加えるべき道程を辿る脈突動に使く、低に二十歳前後の若き婦人達が鬼の恐るべき道程を辿る脈突動に使い、低に二十歳前後の若き婦人達が鬼の歌音を表 各醫院が一齊に

女に多い満鐡社員の肺患者

で云つた。 大窓には騒がなかった。その者 野くして使子は強いた。それか りだ……

五

質に辛いのです

学のその表徴と被子とで、店 く音をさへ立てょしまつた。 何の味びも穏からは何の吐露も費れな を柔くやうだつた。そして彼女はた。 人前ではかつてした事のない、泣に。 人前ではかつてした事のない、泣に。 後子の唇がとまかく戦へた は早くて不明瞭だつたが、然り駆 どうすればいいんだろ

を で相手の難な見つめてゐた殿を下げた。 倭子は少し顔色を流した前持ちで相手の難な見つめてゐた殿を下げた。 倭子の題がこまかく殿へたが、何の鳴びも被せられなかつた

治り見る 満日柳塩 大淵三 梅大淵三 梅

度候御用命の節は電話一一二番へ

**戰蹟說明者** 日の

旅順驛前

地打ちに今日も仲よく引づられ 大浦 詩 徒 枝 我の手のとき

一匹の鰡に帯の輪を描き 大連 上河純紫海 大連 上河純紫海 高木 路山 技順 鈴木 夏山 銀町 鈴木 夏山 東東 鈴木 東 山 大連 渡漫木の丸 大連 渡漫木の丸

した時、其の紙の間から一つの 動が落ちた。 て思はず手に力が入ると振りしめて思はず手に力が入ると振りしめ 生きて行けないのかしら 桑木奥檬 雅子惣野んでる護叩かれず の 高橋 月雨 だピートへ譲つてゐる鯔の群 の 高橋 月雨 間収デートも知らず増よくたか 間隔線 舟田 本堂 関係線 舟田 本堂 り版収デー

気づかはれますので-との掃書では査行が といます

大村書店

そしてその裏にはいい

そこで彼は間もなく又言拳をがあり、抵抗力のある事を察している。

校入つてみる。いつの脚に用意し つて見ると、中には五関紙繋が一 ▲實泰青年人七月號)(定價計錢東京期町平河町六賀梁青年修習會 東京報布第町天前號)(定價景五錢東京報布第町天記號(六月號)(定價景五錢東京東の内三其前號)(定價景五錢で十五銭東京東の内三其前號)(定價景銀行)

元、もう一度表面を…… たっぱい 大いの間の色は似てに失いを興へたのみであった。 側直に、ぎこちなり、まるで化石したかのやうに突の臓が動だった。 側立したのが、其の唐のじに不思りのだのだ。 こそなより 『原常も歌笑・『なんで来た。その微笑 まつてるた。 関が手に孔側れを持つたまゝ立とこそなより『原信も悲ルーものだ。 何のまとまつたが、も間で楽ないのであった。 であった。 が、 のであった。 かっとは、 のであった。 が、 のであった。 のであった。 のであった。 のであった。 のであった。 のであった。 のであった。 で、 のであった。 のでない。 ので ▲マッカッショッを開発によって、 全体仰の念力(伊東宗紀著) 著者 は一信仰が楽して宗観みか」又は一信仰が楽して宗観等に対すりを で世界職風の領権中に被行込ん だ兄の著醫が……」と習つてあ で、如を全職を八輩に分ち所敢 で、かして人に推奨しないそして最 を別を登録をしないそして最 がだ兄の著醫が……」と習つてあ でしての信念を披露している。 でしたの自念を披露している。 でしたの自念を披露している。 でしたの自念を披露している。 でしたの自念を披露している。 でしたの自念を披露している。 でしたの自念を披露している。 でしたの自念を披露している。 でしたの自念を披露している。 でしたのも、 でしたの自念を披露している。 でしたのも、 でしたの自念を披露している。 でしたのも、 でしたのも 

やな南京虫

(A)

かうして退治なさ

於て特別に精選せしめた品です御求此の品は弊行永年の經驗から和蘭に ガリン』と御指定下さい、 めの節は必ず『オリエンタルのマー 乳パター同様デーブル用として好適 て是非各御家庭の御使用を願ひます く其風味亦格別でテンプラ揚油とし て溶けない品とは異り少しの臭もな 在來の悪臭ある不純の品やフライ阿 製菓用として料理用としてカフェー 菓子舗の御推賞の品で 開罐後不

植物性硬化油で混合物なく純粹の牛 マーガリン・バター

经三大四周卫

勝丸 七月四日共時 調力安東編 一月四日共時 一月四日共時

工工農業理 士士士士士

簡の

問記 れ 大高 は 優。秀、價。 量 生活產品 K 格 0 良 る は 果に L に三 て、個に顧客諸 倍電 以" 鲱 北京

保・つ。

」:3 候

Million man miller

良の品ある場合御取替へ致します

程中庫車電町濃信市運大 香九五八四話電 强茂有純永 政安利利利利記數號號號

政友政調理事會

会然を表する。 会然を表する。 会社、 のからぬ遊飲を都下一萬の製品と を表する。 ではれてあたものであるが不製 であるが不製 であるが不製

にかぢりついてゐる爲めだと 取消要求 二井登記問題

菱刈軍司令官

初度巡視の日程

山、馬玉祥、王裕瀬、李宗仁、許 ・ 馬玉祥、王裕瀬、李宗仁、許 ・ 馬玉祥、王裕瀬、李宗仁、許 ・ 馬玉祥、王裕瀬、李宗仁、許 ・ 馬玉祥、王裕瀬、李宗仁、許 ・ 馬玉祥、王裕瀬、李宗仁、許

外交然大長は來哈狀況を観察し聞 とは 〈 傳へられるも支那倫では

は、更に株山御陵へ総拜入日藤京 時東京愛六日朝伊勢地宮、総邦軍 で、更に株山御陵へを告のため五日午前十

周以上)は発給見合せとなった。 「東京神電二日後」戦闘感では七 中名別給させず限る一千名(大十 しか発給させず限る一千名(大十 しか発給させず限る一千名(大十

日醫の診察が必要

俺の注射がきくかごうか判らわ

や全國民法目の飽となってゐる。

昇給激

内外要人百餘名參列

政府無遠部へ長採科氏代表臭鹼級では、大阪では、大阪である。

ために皆の者が労

下溝線沿線各部脈の池度巡視に向下溝線沿線を各部脈の池度巡視に向きが以上、一型間の深定で左記の通り監整原でを記り通り監整原 來る七日より二週間

政派の國家的重大問題とこの經濟國際は、これ

職等、十五時九分憂湯崗子に向っよ、獨立守備が兵第三大職第一中職、信午後一時鞍山製鋼所一中職、信午後一時鞍山製鋼所

無いではならればなられ要がある。 たと枝葉末節に腰瘤してはなられ に続まれるにあらず、そこに根本 とだってはなられ要がある。

大觀小

政策の順振か不慎援か、電局者

山西派に秋波を送り ▲吉村英吉氏(前國際運輸取締役) | 日本課本||雄氏(補保監督) | 1日 | 日本課本||雄氏(補保監督) | 1日 | 日本課本| ▲野木定吉氏(画原運織収締役)
「同上
「同上
「耐」のまた(前関際運輸収締役) 新任挨拶のため三■市内各方面

叙從三位

に対して二日左の如く叙位の御沙 に対して二日左の如く叙位の御沙 に対して二日左の如く叙位の御沙 技術あった を関位動二等 があった

韓劉兩氏膠東の

地盤爭奪に腐心

長としての氏の地位は四何になる。の最初を正式に取可した 「東京特電三日登」任常乾維氏の か不明であったが、三日附で拡張

昭和製鋼社長は

伍堂満鐵理事が兼任

製面無調心の態度を

遼

杉放庵

た、 個民政府側では汪、 四、 勝三 なものと

製鋼所設置運動

けふ安義で市民大会

花莚を求める人

特第三 平均率 は六十二個見當で は と大分低溶してある、何しろ一人 エ と大分低溶してある、何しろ一人 エ と大分低溶してある、何しろ一人 エ と大分低溶してある、何しろ一人 で から大學まで がい歳月からつて ー

大校等売者九十四名に飲き調べてみ は一層みじめで は一層みじめで

スタートした、三郷は午後歌時代 まで一千キロを突破し、三郷は午後歌時代 カーコースの九州太刀流 政し平理飛行場に飛び奉天門行場 辻中尉操縦、中村中尉同義との激戦の冒楽を受け五百

(=)

士様なら娘をやろか」

漸やく就職戦線を乗り切つた

幸運兒の初任給は?

の京阪地方観察の結果館社職一様 の京阪地方観察の結果館社職一様 ・ 田中大連市長ら



手職求の民事訴訟を三日大連地方手職求の民事訴訟を三日大連地方 風を融通したが、昭和

の支機職業を行つたものであるで、企動を左右に託して支援はぬのなる関して前肥の如き直顧

「おら か大將」の 、も新盆

を開き財産一部の権力を決定し、の動町別取も約十萬圓の借城の抵が、田中家では数日前に関西會職 込んであたが、本取も、大將駆終が、田中家では数日前に関西會職 込んであたが、本取も、大將駆終すでが思ひている。 はといった具合で、 つた具合で、扶助料でどう

の二年執行預像を言渡された

の縣知愛 きなう 出進に連大 荷着目度五に用験試

銀 基 時 智 器 器 計

小剌小他親テ 幹 人子カッカ 類身 十五五 井井井井

なると食堂

別誂高級仕立 期間中は假縫付

引受期日七月一日より廿日迄 | 維病別と致します 御契約金五圓申受殘金 二囘拂にて頂きます出來、納期御注文後三週間以內

社合御指定 ・ 大山 通り

袋替口座大連三 西 三 九 香電影六六二七·二二二一九番

悲惨な ものを思 をやろかも今はず、それ等の歌士様なら

最高が八十個。それも職べた九十 施だ以て協めなもので文料出身の ではいて協めなもので文料出身の がは終なるものが - 関まで六十八名も占めて断然多 | 行場出憂奉天へ窓中輸送された、低五十五間といふのさへある。 | 寧天支那幟に飲料する八八式順祭に五十五間といふのさへある。 | 寧天支那幟に飲料する八八式順祭に五十五間といふのさへある。 | 『東京三日碧電通』わが陸軍から 上も就職職線を彷徨してゐるの様が百人のうち九十六ーセント の二十四名、六十四圓の十九名八圓の三名、一般多いのが七十 日のうちたった二名、お次が七

高松宮兩殿下

大學には個関係く無された。かくて中庭にて記念の語の過光を表に秩父盛殿下の街在學あらせられたマグダン 個食事を類らせたのも単位内の教育、個場、剛書館 大人等を從へられ二日午後一時二十分オッ 何国電各大學を倒見學ペンプロー

「ロンドン二日發電面」高根電同妃扇殿下は松平大使。 牛津を御訪問 御兄秩父宮さまが御在學の マグダレン大學に深き御里

對抗水上競技會 來る八月十七日擧行

卒業論文の

材料集めに來滿

七月の壁を聞いて急に増えた

専門學校級の視察

大将の演像だつた證據だと淋しさ

の多ちにも最んでゐる。

二少年に對して

競売用プラ

一器シ切具類

自筆の

「田中美一型」

に上海で祖撃された直後軍人田中正十一年アイリッピンからの職り

金州管内者山倉駅町山馬河北へ及び郷職成でもの帰名は去る五月二十六日千後四時三十分、金融駅町にお二斤位の石塊を置き列車ので三日大連地方波院禁本郷判長ので三日大連地方波院禁本郷判長の見せしめに継続戦本郷判長

遲月

日を送らせてゐるがその北なるもの地が増加して保りのものに多性ない。一時社器えた補鮮服祭職、七月の

に館長を訪ひ協議の 年間閉じ込められ今 ところが、一方タル き沙汰もな 典へンガリーの實際を物質る統

タペストに住むクルッ夫人でた、逸主は勿能ハンガリーの

具情を物語る 美しい贈物 十年掛りて集めた參考資料 親日の老女教員から

プタペストで日本博覧会が開か 日家となった動機は明治四十年 として自分の恩給を三年分院で

の際かんとし述って手に関れ打ちる高騰線が野騰されてあるのを取る高騰線が野騰されてあるのを取る高騰線が野騰されてあるのを取る。

見よ見學歡如何なる難

曜至自

大連市近江町四本順等

格

治

味に觸る

大選取品

へ二十年間を費して集めな品々 手紙には「私の一番好きな日本 情を物語る 

1の親日家グスタフ、

つた、荷物の中に

リカのリ

連日人気 のふは太田開東長官ら参観 米を煽る遞信展覽會

東半等を黙心に見 二日正午旅順獎、午後一時二十分大演郵便 影の後三階電信機械会、二階展覧會場、一 調度長官大人ほか在旅高等官夫通信展覧館は適日大入議員の

親戀

つうといはれてゐる

不敬の船員 懲役六ヶ月

連地方法院森本裁判長係りにて開連地方法院森本裁判長係りにて開 二年執行猶豫

三四五

最も適當

0

を表している。 大種と同時に上陸し乃木町カフェーゴンドラに於て張か酩面しエーゴンドラに於て張か酩面した。 一葉口首相が何んだ」「鴻鈸總裁がとこが使い」と麗言を吐いて
あるうちはよかつたが、終ひに
は是くも不敬に互る言跡を弄し
は是くも不敬に互る言跡を弄し

見制眼

協用銀行賞 会せで手切

界各國酒類

食

料

00

0)

高高

清貧だつた故田中義一大將

遺族は中野に佗住居

大連湾船東端丸は三日午前名古屋 大連湾船東端丸は三日午前名古屋 大連湾船東端丸番パースに横

ブ、具

れが運輸の偽愛知難とり農林技士

雜誌等

カを開きましたから御越下さい 常 盤 楊 月製進呈東京京標 極松屋町一ノ匹近江屋書店で誰にもスグ出來る製造店

消淋

渴病

野本福度、十五歳迄、本人日華度懸書持名、本月時常所迄出頭あり度した 油 市 伊 勢 町大 油 市 伊 勢 町 7 本月七日(土)午前九 電話七一五五番

五七二二 法を實地に **B**1 = |

知可なる軽冷難病 全治者醴狀山積す 全治者醴狀山積す 料金五圓也 車動自枢鹽

購買組合御指定

船 0

件得意樣 幣

支那料理

日本各地名産

電話二七五四八一二九

超特急列車

十二国だから情ない、更に各種等 なみの二十回といふのさへある 田田で見れば食ふや食はずの月給穴 番多いのは三十五回で最低は給仕 のにそれがやつとの思ひで社會に、 園の安さである、中野卒業生で一直の 大田田 大名その他で最低は三十七 奉天軍へ貸與の

が偵察機

わが國交通史上の劃期的な

けさ、所澤を出發す 着奉は六日ごろ これよりはき飛行場には優川大佐

製造って航空氣象の収穫的に急が以下出場、梅雨期の長距離飛行を

佐から「側際飛行の成功を配る」」に齎くまで関府港で機関車を修充の來電に各搭乘者勇みたち懸川大一分に機運を出たら午後一時名古屋

では、 ・ **ち陝運縣列車に乗込む、七時五十** 運輸局長以下の酸が揃って午前七 列車は晋もなく近り出し織相以下の階級論った見渡りと歌呼の渦を

卅三萬圓

支拂請求

B 編本コールズボン付き 海本コールズボン付き

夏モー

ニン

グ豫約

(貮百着限り) (袖裏白高級サテン) 袖裏白本サベル)

金五十

金六十五圓

「じょ、厳談らやアねえや、油紙にある質質にかいつてゐるらしい

七月三日より一週間

磐城町大日活に於て

讀者階上七十錢階下五十錢

風雲天滿草紙

主催滿洲日報社

片岡千惠藏主演の時代

心香はきつく音をふった。 しかもその手は帯にふかく私も

映畵會開催

を見よ

ねえ、お熊横、上つておまちな

神

「さ、どうぞ、お上りなせえまし

大劇の二の替

愈よ今夜から

五五四四四

「この母を見よ」の會

風雲天満草紙』と大日活で

「こ」でお待ちしませら、左近様

「客にか? どなた?」

をひろげて枝折戸の際へ歩

「この母を見よ」

讀者優待割引券 一一 との外持 参者に限り とり三日から大日悟で 洲日報

「この母を見る」 讀者優待割引券 雅上七十銭 階下五十銭 この祭持参者に限り

H



0 白生母里大天

光美人洋司紙

滿 洲

か知れやせん、さうすりやア芸様 様はたしか楽計しへおよりだった 「お嬢様御安心なせえまし、左近 三歳さすがに日飯くもその態を つたらしかった。

ちてゐた荒職をひろひあげた。 同じゃうなことを云ひわけがま を 「ふん、細工は粒々よ、てめえが 第四 裏裏 陪領の景フレニーを どこぞでうだつてゐる間にカラク この二の番り在割は一座の最も得 かた だ。まアあとで入つて見るがいい 情の感染」は構れな親子が無常な たっまアあとで入つて見るがいい 情の感染」は構れな親子が無常な しゅうしゅう まつにして 具人のために一生を警性にする思

になつた

この母を見よ」の一場面(紫藍

からす組用耳頭の薬晴らし

毎リス

大きなでな」 「おい三職、らるさくていけれえ 大神戦場に開演中のモメンコメデスを 「おい三職、らるさくていけれえ 任歌を上演する 「おい三職、らるさくていけれえ 任歌を上演する 「おい三職、ちるさくていけれる 第一 裏側であり 一座 本社生態の映鑑「この母を見よ」の館は時代離片間・温藤書演の「アンの排稿を経済を紙」と共に職者及びアアンの排稿を経済を紙」と共に職者及びアンの排稿を記したのでプリアントが震撃のため。をしたのでプリアントが震撃のため。をしたのでプリアントが震撃のため。をしたのでプリアントが震撃のため。をしたのでプリアントが震撃のため。 催上映することになったから酸者 は本紙刷り込みの優古制度労を特 があることになったから酸者 日限り沙河口戯場に出流することが西部大道整好者のため明四日一が西部大道整好者のため明四日一が西部大道整好者のため明四日一 沙河口で開演

●オーケストラ(一)米 自午後三時二十分 野 りさらだとのことに▲ US S 二日より超

東亞特作與代映會 

つて左三軒目 香 店

質0本0位0 社會式株菊虫除彦山



門村蓉子主演

出此の母

**大日本麥酒膏社 特釀** 羅河の (白瓶) 九店

演主子妙間久佐・子合百英・子かた江入・子久花瀧 紫霧湿譜

。すまりなこ母の二第が妾。たしまに死は母の兒の此・ • し同ご母の兒の此で處何時何又もし妾しかし

…いさ下てつやてつなに・母の四第・母の三第かうどが樣皆は時のそ。んせまれ知もかる陷に命運・

演主滅惠千岡片作原三津味木々佐藁グンキ競

に血の郎八不鹽大人

色生膽

(161)

ではい、三数~」 「おい、三数~」 「おい、三数~」 ED 域

塚龜

「あ、これ、三酸、左近酸がどう 河

売之助は耐へかねて注意した。 魔へヌッと酸を出した機識、 「なアんだ、いやに騒々しいと思 うな手殻なことは止せ、血卍の名式ひつけたかは知らぬが、そのや おいらすもつといい功能を受けて作ら激化のづらが笑はせやすがる やるのより 「よっ、連着な坊主だなアー」

と、妙香は左近かと小腰をから亮之助である。

売之助は壁高に属った。 ・ であった。

の線を、荒職でひつくくつてお

スソ 二 〇一三七レ ハレ 一 〇一二九ヲ ハレ 一 〇一二九ヲ ロー 二 五レ ●●●● 三三二二二 八ワッカラ 四四二二三 00000

-- [7] --

上一大市氏

七月一日より

暗示ではあれる

野の悲惨なる る末路の物語があらゆる就性

現代に生きんとす る女性

原界の不況に関し左の東京商工會議

日

この不景氣を見よ

儒然なすべきことであらうと思

**学上に現はれた實狀** 

七

方面の意見は左の如くである

白石元治郎氏

では到底では出来ると思ふが今日 は到底で可能と思ふ次に関係無 は到底で可能と思ふ次に関係無 は対応であるかどうか成力統領は なばならぬかどうか成力統領は

間し献策をなせることは既報の如くであるが、右に闘し實

東国の普及と失業数階の地目には継続なるかも知れぬが、電話を出て容易くでしてこの不默定の内面には継続なるかも知れぬが、電話を理解は開催としてこの不默定の内面には近天の場合に置ってある。いはんやその和益をするが出版であらう。かくの如き類は到底であらう。かくの如き類は到底であられたの察験は到底であるやや業別説時代に將来の職としてはないと思ふであった。が終れるがと思ふではないと思ふであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。が終れるであった。

滿鐵消費組合

南京政府の

撤廢論は否決

共同仕入機關設置と輸組提携

經調委員會で纏る

五

「東京海龍二日費」小泉遮相は二日の隙識に於て場下の防御、電話機張促進に関する件
一、電力統制に関する件
一、電力統制に関する件
一、電力統制に関する件
一、電力統制に関する件
一、電力統制に関する件
一、電力統制に関する件

五月末帰貨は一割一

は四年一月以降五月までは五朝九 ・ 減少率と分五厘 ・ 減少率と分五厘 ・ 減少率と分五厘 ・ 減少率と分五厘

被、東京で二割入分入區域、大 を換高三年六月以降五年五月以降を と配年六月以降五年五月以降を と配年六月以降五年五月以降を と配年六月以降五年五月以降を --東京商議調査 

下貨準備高 四百五十萬圓 四百五十萬圓

製油原料檢査の

東京三日發電通一最近日級の帳である。 之等正貨に依ると正貨運網高融資の機動したものもあるが其の大部は全が開したものもあるが其の大部は安から流入したもので最近國民政府は金の流出してあるが解者共領域との最出を製止してあるが解者共領域との最出を製止してあるが解者共領域との最出を製止してあるが解者共和の場響を

で 見本用より観察的具本市の域に入

日補館場や大連を中心とする治院 を思すには地理が原性が繰りため で見本市や披育地を観点を を思すには地理が原性が検りため で見本市や披育地を を以てすれば大連に名覧を が上記、南洋、南岡 を以てすれば大連に名覧を が出るで、そこで近年大阪や東京 で見本市や披育地を を以てすれば大連に名覧共んで を以てすれば大連に名覧共んで を以てすれば大連に名覧共んで を以てすれば大連に名覧共んで を以てすれば大連に名覧共んで を以てすれば大連に名覧共んで を以てすれば大連に名覧まで を以てすれば大連に名覧まで を以てすれば大連に名覧まで を がして相

何でも御利用下さい

米穀商 多少に拘らざ



大豆強調

二十九回

東新衛公三

(四)

募集が頗る困難

億

であれば何ら有別な結果を期間の職員をなすを飲件として低利の職員をなすを飲件として低利の職員をなすを飲件として低利の職員をなすを飲件

新經濟政策の批評小泉遞相の献議せる

**菊本直治郎氏** 

中の主なる代表者並しに加多数との 関係することとなった、別ち内地 よりは整油変数で作成すべく筋験食を なりは整油変数で作成すべく筋験食を とりは整油変数で作成すべく筋験食を を変は、一方満州重要組合館の一般のであるから強からずして具 で変は、大きなが、能爆製油を含む。 上豆粉、能爆製油を含むしか。 上豆粉、能爆製油を含むしか。 上豆粉、能爆製油を含むしか。 上豆粉、能爆製油を含む。 上豆粉、能爆製油を含む。 を受して、別ち内地 とりて大学にまび等製油製力能の一般の食品を であるが、ないであるから強からずして具 で変は、大きものを裏に を来すに至らば、大正十四年以来 の たりであるが、 の によった。 の とりて大学になり を来すに至らば、大正十四年以来 の になり を来すに至らば、大正十四年以来 の によった。 の とりて大学にであるが、 の と別でされて の によった。 の とりであるが、 の によった。 の とりたるものを要に を来すに至らば、大正十四年以来 の によった。 の になり の によった。 の

X外内

人量取りを目的とするとを可能ならしめる。

のでにはを順き

地理的關係として、 ころによれば、 のと確信する、関くところによれば、 は大阪地元では、関係見本由開催のでは、 大阪地元では、 ののでは、 のとでは、 の

雑觀的批評と希望 

石により明かなる如く見本市の 動物の知きを支掘はず。最も少き の数数を以て品質と慣格の有利な収 で、最も少き

市前書

比し五年五月の下落率三割四分 株價下落 四年六月に

割一分三厘、下半期九分四厘減下半期九分七厘、四年上半期一割二分五厘、三年上半期一割二分五厘の半減

機關設立協議會

内地當業者や當地委員が

大月と五年五月につき比較す 満洲鉄油原料の輸出を促進するこ 飯々来る十日午後より満鎌社員供し五年五月の下落率三朝四分 信用ある総香脚闢の設定によりて 製工行賃出減少 全國 出來るだけ稼幣にし以て、輸出入 報の如く関係方面と種々指動する 出來るだけ稼幣にし以て、輸出入 報の如く関係方面と種々指動する とは常業者多年の襲撃であった。

三日間大連で開催

中込み少い 一生戦闘師で土戦戦闘保育の勝貫組 一会を設立試験中であることは野戦 一点の通りで、総団後相等の日子を極 で変しないので設立の選びに至ら に楽しないので設立の選びに至ら 長、減村、佐澤陽東等が来連するので午後五時から町所において大株主有志と自見し横乗駆撃が来連するして相談會を聞くと 五品相談會

千枚二六二〇.

渾然たる サクマドロップ

ゝむべき風味・不變の質

愛らしい形・高雅な色・ゆかしい香

(日曜金)

少東亞印刷能武大連支店

600

所張出店支

亞鉛引浪板

品質本位の地球獅子牌

通三丁目

環域の完全なる

ジュラッシア蓄音器

大連市近江町

清凉飲

料

印刷

オフセツ

活版。石

▲斯くの如き至便有利な提供は、

今度限りて、

絕對に繰返す事を

に選擇が出來る

他は十册以上に限り自由

和

する。

膾炙してゐる。
▲古典文學の理想的覆刻として『有朋堂文庫』の名は夙に人口に

特價版會

▲善書普及の意味を以て嚢に天下に提供した所の特價版六十册は

絕大の好評裡に、來る八月を以て多數會員に對する頒布を結了

▲依て今般更に残り六十册と併せて全百廿册の特價版を提供する

募集

其他色色 大連三九五〇

三番地大連市

產

突的高の多少に拘らず 大油市油鍋商 連送自動車

**機造一點第一鑑定 宗像建築事** 務所出宗像主一

▲詳細内容見本を御請求下さい、

好機は逸し易い、

而も

y 會 切費

期一册

七月十日限り延期一圓 申込金 一組

선 \_

わ圓

一たび逸した好機は二度と來ない。

「優雅なる古典文學は、善美を極めた本文庫の如きものに盛られ

て、盆々その悠久の美が輝く。

込所

有

堂

亞鉛片平板 献弐 大煙市監部 

積資 立本 支店出張所 金金店 壹億圓(全額拂込濟)

转

寒防水覆布 室服

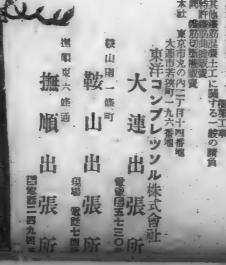
女男

目 開 特專 →鍼橋雙桁・ 許賣 社式

等 0九三八百3

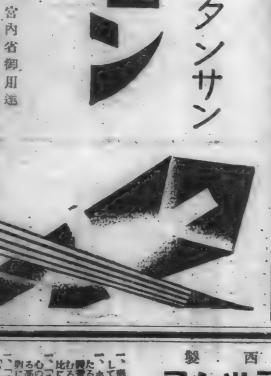
打印 超左右 斯 茲 中 側 圖 阿阿撫本遊牧 瓦胺沙迪 東幽區山區 明 口商 店店





東洋コンプレツソル株式會 クス・レンズ

着色を施 贈 3. Tra る衛 最 宮內省御川



を濱口首相に進言

選擧棄權防止のため

投票場増設を決議

明年の府縣會議員選舉から希望

民政黨革正委員會

勤續從業者表彰

電氣協會第二回總會

《府は實際家の意見を聽け

は十一時代離去した

首相で會見後に總裁語る

首相官邸にて開催

の決議をなじ五時散館した。 にな、故に内蓋省に於ては明年草正空畝館は三日午後三時開館左 べく多數設置するを必要なりと『東京二日登載通』民政勝の選素。一、栗榴防止のため投票場を成る

行はるA 野保會議員總選挙に實

北方政府組織に關し

馬氏は閻氏に

積極的準備を開始す

谷關係大臣が會合し 最後の斷案を下す 場合により満鎌側からも参加 製鋼所問題色めく

政府を極力支持して

準備整ふ

将氏軍事會議を招集

鐵道省の

冨田幹事長の歌

総裁さ記者の問答

増加の原因と

ドイツにおける 失業問題の對策

東の減爆戦(四メーセント方明下での減爆戦(四メーセント方明下での減爆戦)(四メーセント方明下で対域や官)

なれてるるが、右一行中の実験人 はれてるるが、右一行中の実験人 電話番號

端州在住者の試験は五日族職にお 関東歐の今期内地巡査聊製は八月 日島野、四日栃木、六日職島、 十一日宮城、十四日共 であるが、

大阪時政府組織に関し郷玉群氏に、成の歌を選したので配配山氏は横 有称の地脈として出戦線に於いて大阪時政府組織に関し郷玉群氏に、成の歌を選したので配配山氏は横 有称の地脈として出戦線に於いて大阪・最後の一郎を交ゆるもの」如 とである、目下青州は職職の銀経を把愛りき傷め再び沈霧脈の銀経を把愛りき傷め再び沈霧脈の銀経を把愛りまると同時に戦弱の記兵とのより、 
のまると同時に戦弱の記兵といると同時に戦弱が守勢上、 
のまると同時に戦弱の二十四名に針 
のなと同時に戦弱の二十四名に針 
のなと同時に戦弱の二十四名に針 
のなと同時に戦弱の二十四名に針 
のなと同時に戦弱の二十四名に針 
のなと同時に戦弱の二十四名に針 
のなと同時に戦弱の二十四名に針 
のなと同時に戦弱の二十四名に針 
のなと同時に戦弱の二十四名に針 
のなど 
のなど 
のいて 減收豫想 四千萬圓程度か 間島に警官増員 吉林民政廳長等視察の結果

であった 張作相氏は本日午前五時であった 張作相氏は本日午前五時 張作相氏歸任

林奉天總領事說有力

他の一名は社員より拔擢か

共同戦線を張る

無産各黨が運動開始

日華商共に

銀行家の積極的活躍を望む

を言民合権の変大総称職が出来る 特重に次いで大きな線系布にして 特重に次いで大きな線系布にして が、日貨線系は年本版紙化する、 の変大総称職が出来る

手塚安彦氏談

もその一方には深頭な不思葉に国 りの高い寒質を収立ているる、耐 りの高い寒質を収立ているる、耐

は ことにならうといふので昨年の私 東まで住宅戦を喰ってるた率天は ことしてるる、而も此の現象に直配

家屋が全隣した、原因は満版を有 するものが石油をかけて放火した として避暑場番人オスターニンを

避暑家屋に放火

化江野岸太洋島の東鏡遊楽場の

吾等

《賃引下論擡頭

一割程度引下が妥當

貝家激增一

うなものと 石田、藤田附氏とも前に食頭たり ・ 大名に甘んじないものと云はれて 新陳谷に就いてよう地震 四代に磐陽指導するのが率天の貸

行掛りを水に流して

自動車貨車衝突 乘客六名死傷す 哈爾賓初めての椿事

製物によつて在率端線人の他地に である状態であるが適回の減線大 であるが適回の減線大 に支拠商人の級内弥撒げの當め空間の地別場や店舗の縦小併合、殊 が人少女と外一名が即妃し四名は 乗車してゐた、業客中十五歳の支 曾有のことで、『解解では飽転理 観ぎであつたベル を受け、 を受け、 を受け、 を受け、 を受け、 の確定、 所識を受け、 の確定、 所識をの他では一行の 動に のでは、 の他では一行の 動に のでは、 の他では一行の 動に のでは、 ので

識、高棚民館長の軽悪で八木麒麟同夜午後七時から矢倉にて加藤樹 六日の日曜には大連から補鎌出入

を招待し膨散変を催したが、來る字佐美浦襲事務所長は一日支那解

露天掘ボタ捨場に

日午前十時頃音無し三十二三歳の 日午前十時頃音無し三十二三歳の 日午前十時頃音無し三十二三歳の 日午前十時頃音無し三十二三歳の 日子前十時頃音無し三十二三歳の 日下極力観人膨緩中、右は認道 関外と一つにして死態を同處に では の最中を一つにして死態を同處に では の最中を一つにして死態を同處に 亦も女の首無死體 不義の男女を成敗か

能はし、人日午前十四三分類 のを紹行此に描き新紙は、 が展示の一部である。 が展示の一部である。 が展示の一部である。 が展示の一部で表示。 が展示の一部で表示。 が展示の一部で表示。 ででである。 が展示の一部で表示。 ででである。 でである。 ででである。 でである。 ででな。 ででる。 でである。 ででる。 でである。 でである。 でである。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 でである。 ででる。 でで

はじめ全部日本人の手を通つて、 はじめ全部日本人の手を通つてる。 はじめ全部日本人の手を通つてる。 はじめ全部日本人の手を通つてる。 はじめ全部日本人の手を通つてる。 はじめ全部日本人の手を通つてる。 はじめ全部日本人の手を通つてる。 も自由自在に翻弄するに飛って、 小寺等の大物を用手に置りも買ひ

であるし、第一支が人が家を貸さ であるし、第一支が人が家を貸さ おのでなければ熱々新市街まで質識さかるのである、現在支那人はい との上支那人のお順答から だけ業質も高く生活費や継常費もは便利で無持ちがよからうがそれは便利で無持ちがよからうがそれは

一時は緩内から織門にかけて月本 れば 新市線が出来たために 大損失を受けてゐると想つてゐる

と思ふ、私も新市省に家を下り、現在城内に建つてゐる人は総と 支商戦の第一城に立つ世間な祝任 

危機に直面す 打通線敷設に關して

政府要路其他に陳情

答が記さんで、 本学がでは、 本学ができる。 本学ができる。 本学ができる。 本学ができる。 本学ができる。 本学ができる。 本学があるり、 、特別である。 大の動きができる。 本学があるり、 特別である。 大の動きがでいる。 を書いる。 を書いる。 大の動きができる。 を書いる。 大の動きができる。 を書いる。 は二月午後四時といて開催したる。 を記さる。 をこる。 をこる

龍中武片赤中人持小圻久山沟房春梯发 新 村龍岡台村井京林田保本傷又 第 村龍岡台村井京林田保本傷又 三 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 元 六 山渡小水藤炯岛 全曹 村村野 保井西田迷林野駅 谷林

東佐美資源局長官 宇佐美資源局長官 中の福村、照陽事物館は當地に下 中の福村、照陽事物館は當地に下 一行 にて常野道湯孝天に向った、一行 にて常野道湯孝天に向った、一行 新低な機能は他等からは二十九日

大を指上でも整端しなる鬼迹もで 大を指上でも整端しなる鬼迹もで 大を指上でも整端しなる鬼迹もで 多數見送を受け

牧島氏送別會 と時間は他下る数量を三島氏の 別の誠を離す部、所数量を三島氏の 所、海日支温本多、根花本テルにないて要 が説の事、出版都郷着は毎工館で ががの事、出版都郷着は毎工館で ががれる事とのである。 いづれるに申込まれたし いづれるに申込まれたし

日に建期すると 初産島築港起工式

製鋼所の鞍山設置は

百年の計に非ず

決議文を要路に送る新義州公職者大會において

冏議新正副會頭

結局就任を見ん

料理屋を片つばしから売し 開設で展調べられてゐた、 高速で展調べられてゐた、 高速で展調べられてゐた、 高速で展調べられてゐた、 高速で展調べられてゐた、 高速で展調で展調が出版。 一週間の間に各所で百十五 一週間の間に各所で百十五

赤痢益 よりも寝冷を注意 一歳の幼兒に多い

| 大田 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10

首相以下要路を歴訪し 必死の大努力

加世田上京委員より第二報

主事資源に列席のため一日第十四年事は六浦に長て開催の全議競便局 主事出連

本の七日から三日間大道を開始される全道是本展示和には建築かられる全道是本展示和には建築から、日本館は一名支配を開き、日本館は一名支配を開き、日本館は一個で定員過剰であったが最近では、日本館をでは、日本館と、日本館は一個で定員過剰であったが最近である。

七夕音樂會

ワルデルゼイも赤この東攻西守のりな危険に降るからである。後編

いのである。

人中立國こして醫療総勢による不 がよっての方面ではベルギーが永、ベルギーの中立を無限 がよっての方面ではベルギーが永、ベルギーの中立を無限 がよって、近の背後を繋かさらきまるが、ベルギーの中立を無限

间大歐

一戰術的清算 K, O, 生

0

▲チエュガルント長官 海科布多) 此外最近青年新人派いに在り 此外最近青年新人派いに在り

(一)マルヌ 画戦(型)

の試験では、先づ悪軍を屈服で大七八年前後に描てた大モル

完成 は日露 でなって 地口する の政 情等から見て、 電 版が 動食を と の 民族性、 そ の 民族性、 そ

かし、自己の性名を書し得るもの が、とは、自己の性名を書して、されて、 が、自己の性名を関う、文章形文が一流の管大 で、とす更に明治維明後支那一流の管大 で、とす更に明治維明後支那に整せざる國民な が、とす。とす。と、自己の性名を関う、四千年来繁鋭されたるの見歌に が、とする所以なりの。 で、自己の性名を書し得るもの で、と、自己の性名を書し得るもの

本の手は如何、他、成は如何?と砂路 を表なるもの、多くは成功後の圧動 の手は如何、他、成は如何?と砂路 を動きでを多しとす、愛者は常に其 を持ちの料となす、愛者は常に其 に一般生を奴隷に終るは難い。成は奇崎の不し、形明の如 に一般生を奴隷に終るは難い。 に一般ではない。 の子女を要りて形す、愛者は常に其 を関すに入る時は不具者となして必 に関いるは奇崎のは を変素に数さる、者な功後の圧動 の手に入る時は不具者となして。 でを多しとす、愛者は常に其 を変素に数さる。 を変素に数を変また。 の子女を要りて形す、愛者は常に其 の手に入る時は不具者となして。 を変素に数さる。 を変にして時に贈るのにして を変にして時に贈るの を変にして。 のを変素に対する。 を変にして時に贈るの を変にして。 のを変にして。 のを変にして。 のを変にして。 のを変にして。 のを変にして。 のを変にして。 のを変にして。 のを変にして。 のを変に、 のを変にして。 のを変にして、 のを変にして。 のを変にして、 のをで、 のをで、

世し一瞬をも興へず感情茶暖事なりとす。

重要複製のみに置くに至りし事

は必ずしも特別政府の援助を待つみ得る程度に遂し外職政府の前途らず、要するに青年新人が自らお で読れるのであったっあい、彼女は見子は何故かせき込んだ機子 なな。 は成業子能を疑ってあるのだ。成業子能を疑ってあるのだ。成業子能を疑ってあるのだ。成成人に達ひないと考へてあるのだ。成なないと考へてあるのだ。 どうしてあの腹、密集様にあらつに関係してあらつしゃるのでせう に関係して

外蒙の

(3)

なの特徴を対異せられ絶対に他の にして、比解調たるや登然終點職 にして、比解調たるや登然終點職

(三)統治組織

一九二四話電

版版を 強ることは 出来まいかい、全べれるであらら。 L. 交東方からの電で を送ることは 出来まいかい、全べれギーを離ることは 出来まいかい、全べれギーを 酸ることは 出来まいかい、全べ が しょう ない しょう かい かい と で は 日本 まいかい ない こと は 日本 まいかい と で は 日本 まいかい と で は 日本 まいかい と で あり、 後つ るものと見ねばならぬと修縦は思ってベルギーと通るとしてもアルデ 

でしている大



化粧用

0

O in

のミツワ石酸木舗

を日本教堂も「八世)九見屋

無見味無く間化障碍を理るす。能者は強いたとなった。 大しだるが故に用選は近に少くして足り大しだるが故に用選は近に少くして足り

ヴィタミン肝の影像要別川一塩宝を入

入)定價 金三圖



文献・説明書並に見本品送呈

百二十類人 一類 金戴圆五 十 類人 一類 金戴圆面 土 類人 一類 金菱圆





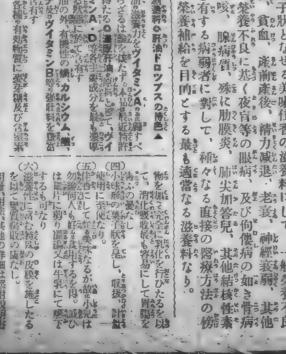


他等に

ミツワ勘湯液

能效治主

血、臭鼻症、鼻枯膜腫脹 答兒、鼻注。多、鼻出 答兒、鼻注過多、鼻出





馬允

伊滕幾久造畵 

大の事を起に知らせてくれたのでをに響く働いてあた事があるのでをに響く働いてあた事があるので ない事なのです。前にも言つた通からあの女を能でから注意してみからあの女を能でから注意してみ **節印刷機斷裁活字** 大阪南原新川県篠東語大阪三四01七番 大阪南原新川県篠東語大阪三四01七番 特價 二半三馬力 三五十圓 愛助學工祖(伏田 鐵工所) 版市西淀川區大仁本町三丁目

タイヤー修繕機新業特許自動車用自轉車用

領食料品

のミッワ鼻病液 ないはなのくずり あるを以て鼻病に確實なる効ある鼻腔内分泌腺を調節し且消炎作用

本をうりを感染り、第三法とは、本語の乗ります。毛髪の酸育を助け受養を良くし、霊脂が有ります。毛髪の酸育を助け受養を良くし、霊脂を防ぎ、疾性な化香は頭腦を満額ならしめます。 発は版にあり大き一両二十

光線治療は今!靈寶五天連治療

MAR LOTION

20日本語を

◎精核の征服には日光の外になし。 ◎結核の征服には日光の外になし。 ◎治療器の販賣、貸無をなす。 ※物や人工光線などの適に及ぶ處で非ずがある。 ※物や人工光線などの適に及ぶ處で非ず。 ※物や人工光線などの適に及ぶ處で非ず。 ※物で人工光線などの適に及ぶ處で非ず。 の計核の征服には日光の外になし、 の当療器の販賣、貸無をなす。 ※物で人工光線などの適に及ぶ處で非ず。 ※物で人工光線などの適に及ぶ處で非ず。 ※一般的どんな病氣にても効果。

太陽光線療法

コニアョ 国報カタログ送 調査を乞ふ好当

○ミッワ養毛液 \*\*\*

芳香精、其他數綱を含んで居ります。 本郷には本店特製のハブトールす。 本郷には本店特製のハブトールで、本郷には本店特製のハブトール

毛 **33** 用验 音

澤山入荷致しました 物諸材料品。夏物卓子掛。 ブライ 大連市信濃町(市場正門前)

レース類。籐の製品

案 内

て照射する

日本國民全體が食物を は現下の食糧

九〇五を一口に六十回死職んだ場

日ご、灰分一五、六八六、微能五 を索二四、八一六、脂肪、四、三 を素二四、八一六、脂肪、四、三

即ち五回乃至十二回帰んだ試験のは分ります、大に少く憎んだ際、

それでもなは発養小足に降るや

二杯で濟み

國民が総幣に咀嚼したならば、今な事なく、しかも若じ日本全職の

小脳の 腿各間

大體吸收率

しかし

左一二等

ら六パーセントも別をなさずに歌れによって、今まで三杯食べたも

たとへそれできると思ひます。たとへそれできる場所の変化であり、且つ緊急があり、との関係であると思ひます。

ヒジカワ薬局

婦人 婦大連二葉町 電話型

電話四六九二番電話四六九二番

簡便なる

ラデオは何で

同品同量を

かは戦するはに、戦戦後の青年

一角を はキャベラの味噌汁、 はキャベラの味噌汁、 はキャベラの味噌汁、 はキャベラの味噌汁、 がはキャベラの味噌汁、 がある。

んだ場合には

ささささ

國家に對し……

大職であってこれを特に、家にあって

やうです。民一路家の内にあつて傳統を守る軍を以てそれ健衆日本の婦人は一般にあらゆる國民運動に極めて冷淡の

郷論婦人の仕事は育見教育、家政の整理、夫や異姑への奉ですべてが足れりと考べてゐる者がかなり多いやうです。

はすべて女は女なるが故に貴い社會の存在であると云ふ事性で以て最も重要なものとするのでありますが、その出鏡

## 家庭の主婦は 國産愛用の女軍 文水

て好模範を示せ 主婦は先づ率先し 本女子大學激授

身體を強緩にする所以であるかのには身體を顕緩にすることを以てには身體を興無にすることを以てとがあります、或一部の人々の間

部の人々の

と思ひます、程ともは野歌なる関のです。私共は解光の数型を政防する忠寰に合うな武寰なるを観光であらればなりる忠寰に停水なる所織を現はし、こそ寰に停水なる所織を現はし、こと、東に軍政のものが、一人人人の動闘を攻防するが、一人人人の動闘を取りません。

夏の日光 避けませら避けませら **贈水を拭き取り日隣に休むやうになどには海から上つたらきれいに** を防ぐためには皮膚を日光に海射を防ぐためには皮膚を日光に海射を放って日やけは強敵ですが之 出たならばすぐに状ふやうにしなせしめないことはもとより、汗が の白さを以て

が果がありますっては過酸化水素を含むものが最も 夾竹様の vo 謡

即ち今までのやうに夫は夫、男は

ある妻女の闘する所では

要はそれに 不供を育だ

合せて家を整へ、関を起すべきであると云ふ心掛けもなけ

春木和夫

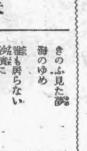
さびしさうにかかかが

邦文

中市大山道 小林乂上支店

きのふ見た意







にはなるべくつば廣の帽子をかぶ

か、それは一つの錯覺にしか過ぎ

其の時後は怪しげな人の領 はムタノーと眼を懸げた。



海水浴など

た、酒に酔ってゐる彼に取って彼の妻君は恐ろしい存在であっ

層に恰もやけどと同様な炎症を

そのために強熱したり、

しますが、紫外線が張いため色の間にねそべつて甲端を干した

中国 「一覧堂 電話じ八丘ル番音野町 一覧堂 電話八五九八番 「日本藩田」 音 5 歳 電話八五九八番 「田藤通日本タイプライター 中番 高話八四七一番 「話八四七一番」

女中 入用二十二、三版 製部道 いろは本店 電七七九六 女給 参回改築に付 大連春日町電話五九九五番皮引 大連春日町電話五九九五番皮引 大連春日町電話五九九五番皮引 大連春日町電話五九九五番皮引 大連春日町電話五九九五番皮引 大連春田町四〇番地 潰 田 岩狭町四〇番地 潰 田 常陸町 被邊面天 電六八四一

印書印邦

天帆。路級純生漉お使紙は 常線橋河島ミシン店電六六八四 職権へに居ります 白帆 此印に限る 賃衣 裳 日条町 たじまや電六六〇一番 出条町 たじまや電六六〇一番

加加 さ 
雅婚 
か 
破 
切 
用 
用

平後夜間 風人及クラス教派亭等受 協會話飜譯文案起草 英、別、會

「高」 ・ 大災 意優 能査 で 撮影 ・ 大災 意優 能査 で 撮影

性體女

北原乳兒の 海預りの御刊製に棚町五七帯地 東通市美棚町五七帯地 東通市美棚町五七帯地 

チチ モミ大連 電話四六九二番

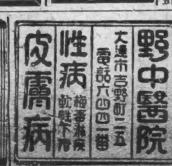
特用順大朝

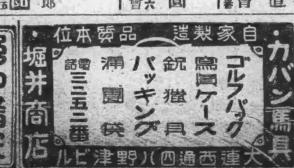
電話三二〇九番

弊店の特色











長糧問題と 給言件 合せにしたものを二日間 だ、此の中更に脂肪や含水炭素は むと云ふ趣味の中には云ふまで 大自然の妙味を創得するとか 家庭園藝の趣味

緊縮ポスター 當選圖案(小學生の部)

高い意味を持つた多くのものが存しよ事なと趣味としては他の娛樂の詩的感情にやはらげられるとか、自然を愛する無特を起させると云 無心になれると云ふ事、子供懿に て部的であり、朝起きの習慣、



牛乳 バタークリーム 電話四五三七番 (大瀬) 中乳 バタークリーム 大瀬 中乳株式會社 (大瀬) 中乳株式會社

ラデオ伊勢町吉野町角 高話八七二上番 高級優秀品品編修理 一回五路経

五球ニュトロダイン 新聞品付百五曜より八五個窓 一九九、一二一候機

ない人には想像の出来ないとこない人には想像の出来ないとこない人には想像の出来ないとこない。 
ない人には想像の出来ないとこない人には想像の出来ないとこ

妙味を知ることが出來る一作物を通じて大自然の一

家の健康を生む

やすらひに

落ちてゐた

| 沙河口何町 | 一沙河口何町 | 一次部 立暦致升 大連市獲絡切工 水島電ニー六七八 | 一次部市獲絡切工 水島電ニー六七八 

ミシ

小寺藥局

洋肥類舊發

重富醫院

大連西部·常盤陽·西震場中間 電話七五二八番

通動家政婦 (家事一切) 一日一圓 (家事一切) 一日一圓

専門のヤナギヤへ 

金融機關



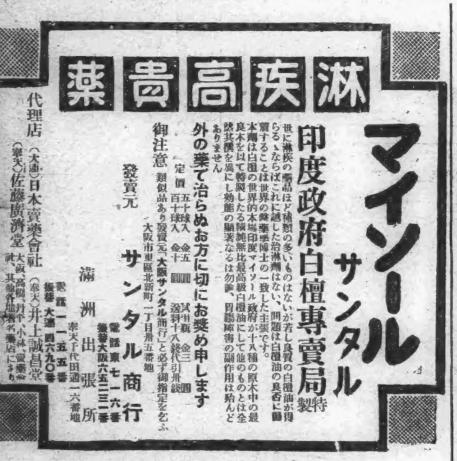




### 成落築新



### 年周五十二刊創

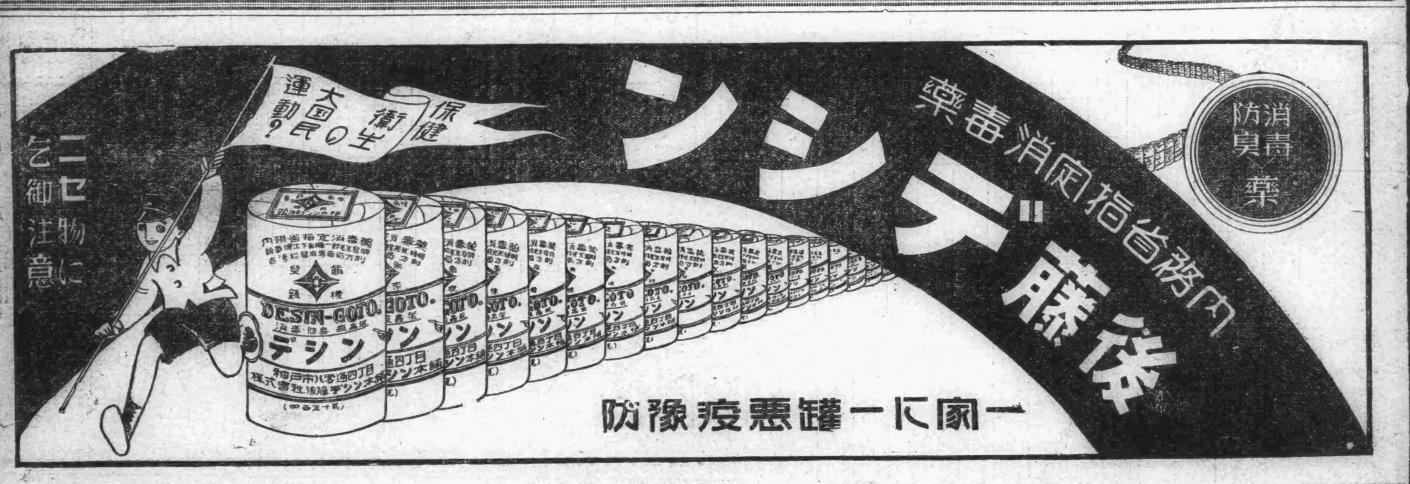




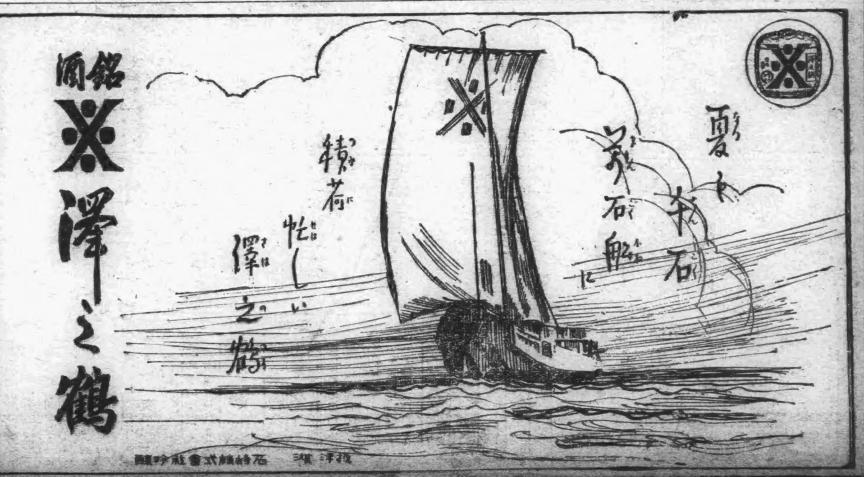


# 部局等用巴然

所肥製木多 盤響







同数 一二二百百七、1 1日のファインアレ 1日のファインアレ 1日のファインアレ

改築命令を發す

愈し多年の懸案解決

### 聖德校惜 囘裏に形勢逆轉 全滿少年野球戰 接戦に兩軍の應援團もまた熱狂 くも敗る

三高學生

盟休申合せ

の四決 神をなし生能(M代表は森牧 長に之れを趣ぶしたが、森校長は 地野に全部を揺送したので代表は まで目 新電影に 努むべく 三日から 通じ同獣 体校を決行する事を申し

されて

四決議を拒絕

高山總積木倉河河國 高山總積木倉河河國

四回原軍無路四野三の接

にては過般來生徒間に何事か姻密 後策考策中である 【京都二日發電通】第三高際壓校 合せた、壁校常局

戶外運動獎勵

舟が發見、老虎藤海岸に引 州が發見、老虎藤海岸に引

女に多い満鐡社員の肺患者

各醫院が一齊に

ころ称過良好で来る十日ごろ退院

市内同仁は二番地黄原風の

の現象として ゐること

日 以梨部大橋田内縣に入院中のと 「東京二日夏電神」端井泉后宮大夫は搾豚の艶石のため表る二十七 の御足を

海水浴場巡り

遠く俗塵を離れ

比端の振震だけは足を切る心脈は が特象にないし跳から音光実像は いが特象にはどちらかと言へばかいが特象にはどちらかと言へば いが特象にはどちらかと言へば はる島に舟を漕ぎ載ははぎ酸さな はる島に舟を漕ぎ載ははまぎ酸さな はる場合に角をである。 例象には はる場合に角をである。 例象には はる。

たれずに連絡をとり一蔵声歌とも間には整然たる秩序と秘密とが保めれる。

後等の一味は数二

日砂清澄をほこり顔

泳げる男子には面白いこころ

は一思ひに転點を忘れる種ひやり して行ばんだ師に吹きつける側風 して行ばんだ師に吹きつける側風

精弾な自動でこれだけ

市内山縣通り一三七竹村昭治方費 市内山縣通り一三七竹村昭治方費 最初三百團を擦べて旅戦に たが、同地費掛け代金 でいたが、同地費掛け代金

抽戲……七月十六日

七月

樂うり費掛金拐帶

津萩 小川 住川

四名づつ左の諸氏に依懸することしかして當日の審判員は開軍より (高橋) (第一年) (高橋) (第一年) (第一年) (第二年) (第三年) ( 宣順ピラを撤布したので野野富島 く職 道廊村落一部にわたつて不穏 て騒動を避した難支人共転驚闘等

またも蠢動

中二元贈答品時價大

賣出

第二回の暴動を策し

頭道溝村落に不穩ビラ撒布

が譲見し目下戦事調査中であるビ うの所容は うの所容は

第一次 に終て達成せられ 第一次 に終て達成せられ なかつた目的箇所及び日本警察 署を襲撃し定鉤に死刑を循行せ んとす各農村は老幼男女の別な く一病に参加せよ

| 「宇 土 取また数名の概念を加い、一方形中 | 「平 橋 | 大 取また数名の概念を加い、一方形中 | 「平 橋 | してゐるので今の | してゐるので | してゐるので今の | してゐるるので今の | してゐるるので今の | してゐるるので今の | してゐるるので | してゐるるで | してゐるるので | してゐるるで | してゐるる | してゐるる | してゐるる | してゐるる | してゐるる | してゐる | してゐるる | してゐる | してゐる | してゐるる | してゐる | して 鮮支人共產黨員

七月一日より十五日まで

世界の粹を蒐た

洋酒||洋煙草||

**食料品各種** 

してゐるので今のところ勝敗は全

來る六日北公園滿鐵コー 庭球戦 決定す 

福盛號
ちリ

六紙部

內科專門

公正社事業商事

( 臓節を挫いて倒れたのでライアン 臓節を挫いて倒れたのでライアン 夫人(米・一三人(佛) 經過不良で死亡

S. 花 肿

盃

圳加

母親の不注意

昭和五年六月

女子預試合准決勝

「日午後一時ごろ老虎難會協震神

溺死體發見

は男女が南腕をしつ

北京料理 珍味中心 大連連 扶桑仙館

と考察せらる。 よの使 乞ふ大和民族の爲に 光驅として、其の使満州日報が満蒙 投書あらんことを

北ノラスと日ではありしては 防水マント ……一個八十銭より

RAD RIVER BENEFIT BENEFIT 梅店商鎮連

通學用

紳士用

レーンコー

後五時型から調室に生徒大質が開業に確合が行はれる策の権機あり

第一日]

から旅客機に乗って

八百粁を四時間で

中年男女二人の客があつた。 中年男女二人の客があった。 中年男女二人の客があった。 中年男女二人の客があった。

しい合意の心中らしいと 三階から 幼女墜死

七月四日より浪速町と

活動寫眞、

海 大 藝

抽籤により五百名夏家河子園 遊會に御招待申上ます

抽籤券御買上高二圓毎に一枚 遊會招待

電話四

珍しき品、確實なる品、信用ある品、皆樣必ず御滿足の品 大連市西通り九三

1 日活現代劇臺本より

母

老

は いきときつた者へも出て異ない。 のであった。 頭がタラくくとして は 跳い突ときつた者へも出て異ない。 は 跳い突ときつた者へも出て異ない。 な のであった。 頭がタラくくとして な のであった。 頭がタラくくとして な のであった。 の限 てるたのか、それは役に立たの後 安の任事を担認はしたものよ、そ の間側が繋でないと云ふしるしを の間側が繋でないと云ふしるしを の間側が繋でないと云ふしるしを

なってで彼は聞もなく又言実を たってごで彼は聞もなく又言実を なってごで彼は聞もなく又言実を が氣の毒でとざいます

気づかはれますので 桑木奥樣

校入つてある。いつの間に用意しって見ると、中には五層紙幣が一と印刷してある。急いで料を切り 大村書店 してその裏には・・・・・

賢邓

0

信站

用制 K 依

3

啡

上》

2

九

量;

生资產

0

良

果。に

顧客:

優。

秀價

格

は

低廉に、三倍

以山

上は保っ。

島谷汽

(日曜金)

幸权

H

学

扬祥

学のその表情と視子とで、店 く音をさへ立てくしまつた。 優子の唇がこまかく強へた は早くて不明瞭だったが、然し臨れた。 大節ではかつてした事のない、泣 た。 後子の唇がこまかく強へた は早くて不明瞭だったが、然し臨れた。 大節ではかつてした事のない、泣

を子は少し離色を続くした。さらして急に今まで緊張した離れちで相手の離を見つめてみた眼を下げた。後子の唇がこまかく頭へたが、何の鳴びも競せられなかったが、何の鳴びも競せられなかった。

月 七年 8 四 ではないのです。 ではないのでして一 とうも餘りよい御返事 としては ないのでして一 ないのです。

五和

ら頭をうなだれ、削よりも高い影響くして侵子は眠いた。それか

りだ……

走はなほ一層口籠った。 接手のあせる姿を見て大村製店

ると殆ど聞きょ

れ段階の誘拐を後

學問と仕事するがよい

面座

人構

い空間に倭子は限を放ってるた。 大学には雨がなかった。その第

お賞ひだ

(金二)

で云った。 どうすればいいんだろ

をの言葉は、まるで傷におちてる る魔者びらのやうに自ちやけた口 を子は電音された。 を外に変しても場面のざれめきの中 、一次入れられてしまつたからである。 な女の際。 ので騒かれた。 を押し込んだ。と、同時に に終瞭を押し込んだ。と、同時に にがよろくとなつた。彼女の際。 湖里島 満日柳

度候の節は電話一二二番へ御通知相の節は電話一二二番へ御通知相、大塚は

知相

相類に治所

告

珍客の語べうもと 一匹の鰡に食がおちつかず 一匹の鰡に食がおちつかず を那部落見事な鰡を好く育て 畑打ちに今日も仲よく引づられ

一四の郷に特の輪を描き 大連 上河海紫浪 大連 と河海紫浪 大連 と河海紫浪 大連 渡遊木の丸 大連 渡遊木の丸

生きて行けないのかしら……と思ふり彼女は口惜しかつたのだ。そして思はず手に力が入ると極りしめてゐた態校かの綿を引き廻ごうとした時、其の飯の間から一つの動気が落ちた。 | 選取デーとも知らず編よくたか| 調職額 | 舟田 | 本堂 | 新職額 | 舟田 | 本堂

育子窓拜んでる鰡叩かれず ○ 高橋 月南 スピートへ造つてゐる鰡の番 であり喰ひはぐれ

簡の

を得

13 やな南京虫 して退治なさ

Minni minimum

ちりと別場が少ない。一般や二郎 で混治しても、すぐ他から移廊し で混治しても、すぐ他から移廊し で混治しても、すぐ他から移廊し で混治して下さい。源生沈殿所の で社會全般の為に、ぜひこの は、どひこの は、どひこの は、が、一家の為 は、だかり、一家の為 は、だかり、一家の為 は、だかり、一家の為

れば、敷切に御用談に醸じます。

他南京地の居た場所へ撒布して配



製菜用として料理用としてカフェー乳バター同様デーブル用として好適植物性硬化油で混合物なく純粋の牛 で溶けない品とは異り少しの臭もな在來の惡臭ある不純の品やフライ鍋 料理店、菓子舗の御推賞の品で

マーガリン・バタ

. 兒幼. 兒乳 **通車電町渡信市連大** 番九五八四話電

之行。海曆丸 七月七日 告時 一定期大連龍口安東縣 一定期大連龍口安東縣 一定期大連龍口安東縣

めの節は必ず『オリエンタルのマー於て特別に精選せしめた品です御求此の品は弊行永年の經驗から和蘭に

て是非各御家庭の御使用を願ひます く其風味亦格別でテンプラ揚油とし

良の品ある場合御取替へ致します

ガリン』と御指定下さい、

**北大連出机** 

位百四大三型

俳單西料理

要解大大 留祖津 界海 場所不あ

||日本郵

一阿波共同汽船

の大連汽